

2. Japanese Language Courses

2.1 Syllabi in Japanese

平成28年度国際交流科目のうち【日本語学習に関する科目】一覧

前期(計34科目)

科目番号	科目名	時間割	担当	JLPTレベル	キャンパス	頁
FJ01	基礎日本語 I 5a	火2	渡邊千佳子	N5	南大沢	55
FJ03	基礎日本語 I 5b	火3	井上正子	N5	南大沢	55
FJ05	基礎日本語 I 5c	金2	渡邊千佳子	N5	南大沢	55
FJ07	基礎日本語 I 5d	金3	渡邊千佳子	N5	南大沢	56
FJ09	基礎日本語 I 5e	水5	井上正子	N5	南大沢	57
FJ11	基礎日本語 I 5f	月5	大木理恵	N5	南大沢	58
FJ13	基礎日本語 I 5g	水4	田中節子	N5	日野	59
FJ15	基礎日本語 I 5h	水5	田中節子	N5	日野	59
FJ17	基礎日本語 I 5i	木3	山田真弓	N5	荒川	60
FJ19	基礎日本語 I 4a	月2	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ21	基礎日本語 I 4b	水1	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ23	基礎日本語 I 4c	水2	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ25	基礎日本語 I 4d	月3	山田真弓	N4	南大沢	62
FJ27	基礎日本語 I 4e	水3	長谷川守寿	N4	南大沢	63
FJ29	基礎日本語 I 4f	火5	井上正子	N4	南大沢	64
FJ31	基礎日本語 I 4g	木4	山田真弓	N4	荒川	65
FJ33	基礎日本語 II 3a	火4	井上正子	N3	南大沢	66
FJ35	基礎日本語 II 3b	月4	大木理恵	N3	南大沢	67
FJ37	基礎日本語 II 3c	金3	山田真弓	N3	南大沢	68
FJ39	基礎日本語 II 3d	水4	井上正子	N3	南大沢	69
FJ41	基礎日本語 II 3e	月5	奥野由紀子	N3	南大沢	70
FJ43	基礎日本語 II 2a	水3	黒田史彦	N2	南大沢	71
FJ45	基礎日本語 II 2b	水2	田中節子	N2	南大沢	72
FJ47	基礎日本語 II 2c	金4	山田真弓	N2	南大沢	73
FJ49	基礎日本語 II 2d	火1	渡邊千佳子	N2	南大沢	74
FJ51	基礎日本語 II 2e	月3	黒田史彦	N2	南大沢	75
FJ53	基礎日本語 III 1a	木3	梅岡巳香	N1	南大沢	76
FJ55	基礎日本語 III 1b	木2	長谷川守寿	N1	南大沢	78
FJ57	基礎日本語 III 1c	月4	山田真弓	N1	南大沢	79
FJ59	基礎日本語 III 1d	火2	岡村郁子	N1	南大沢	80
FJ61	基礎日本語 III 1e	月5	黒田史彦	N1	南大沢	82
FJ63	基礎日本語 III 1f	月4	田中節子	N1	日野	83
FJ65	基礎日本語 III 1g	木2	山田真弓	N1	荒川	84
FJ67	基礎日本語 III 1+a	木2	梅岡巳香	N1+	南大沢	85

JLPT(日本語能力試験)のレベル

N5	ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。また、教室や身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取り、理解することができる。
N4	基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。また、日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
N3	日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。また、日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。日常的な場面で見聞きする範囲の難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。
N2	幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。そして、一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。また、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N1	幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。そして、さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。また、幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。

「日本語版用」日本語能力試験 認定の目安
<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

後期(計36科目)

科目番号	科目名	時間割	担当	JLPTレベル	キャンパス	頁
FJ02	基礎日本語 I 5m	火2	渡邊千佳子	N5	南大沢	55
FJ04	基礎日本語 I 5n	火3	井上正子	N5	南大沢	55
FJ06	基礎日本語 I 5o	金2	渡邊千佳子	N5	南大沢	55
FJ08	基礎日本語 I 5p	金3	渡邊千佳子	N5	南大沢	56
FJ10	基礎日本語 I 5q	水5	井上正子	N5	南大沢	57
FJ12	基礎日本語 I 5r	月5	大木理恵	N5	南大沢	58
FJ14	基礎日本語 I 5s	水4	田中節子	N5	日野	59
FJ16	基礎日本語 I 5t	水5	田中節子	N5	日野	59
FJ18	基礎日本語 I 5u	木3	山田真弓	N5	荒川	60
FJ20	基礎日本語 I 4m	月2	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ22	基礎日本語 I 4n	水1	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ24	基礎日本語 I 4o	水2	渡邊千佳子	N4	南大沢	61
FJ26	基礎日本語 I 4p	月3	山田真弓	N4	南大沢	62
FJ28	基礎日本語 I 4q	水3	長谷川守寿	N4	南大沢	63
FJ30	基礎日本語 I 4r	火5	井上正子	N4	南大沢	64
FJ32	基礎日本語 I 4s	木4	山田真弓	N4	荒川	65
FJ34	基礎日本語 II 3m	火4	井上正子	N3	南大沢	66
FJ36	基礎日本語 II 3n	月4	大木理恵	N3	南大沢	67
FJ38	基礎日本語 II 3o	金3	山田真弓	N3	南大沢	68
FJ40	基礎日本語 II 3p	水4	井上正子	N3	南大沢	69
FJ42	基礎日本語 II 3q	月5	奥野由紀子	N3	南大沢	70
FJ44	基礎日本語 II 2m	水3	黒田史彦	N2	南大沢	71
FJ46	基礎日本語 II 2n	水2	田中節子	N2	南大沢	72
FJ48	基礎日本語 II 2o	金4	山田真弓	N2	南大沢	73
FJ50	基礎日本語 II 2p	火1	渡邊千佳子	N2	南大沢	74
FJ52	基礎日本語 II 2q	月3	黒田史彦	N2	南大沢	75
FJ54	基礎日本語 III 1m	木3	梅岡巳香	N1	南大沢	76
FJ56	基礎日本語 III 1n	木2	長谷川守寿	N1	南大沢	78
FJ58	基礎日本語 III 1o	月4	山田真弓	N1	南大沢	79
FJ60	基礎日本語 III 1p	火2	岡村郁子	N1	南大沢	81
FJ62	基礎日本語 III 1q	月5	黒田史彦	N1	南大沢	82
FJ64	基礎日本語 III 1r	月4	田中節子	N1	日野	83
FJ66	基礎日本語 III 1s	木2	山田真弓	N1	荒川	84
FJ68	基礎日本語 III 1+m	木2	梅岡巳香	N1+	南大沢	85
FJ69	基礎日本語 III 1+n	水2	奥野由紀子	N1+	南大沢	86
FJ70	基礎日本語 III 1+o	水4	山田真弓	N1+	南大沢	87

科目名	基礎 日本語 I 5a・I 5m (火曜日 2 限) I 5b・I 5n (火曜日 3 限) I 5c・I 5o (金曜日 2 限)		科目 番号	FJ01・FJ02 FJ03・FJ04 FJ05・FJ06	単位数	各 1
担当 教員	井上 正子・渡邊 千佳子		前期・後期	火曜日 2・3 時限 金曜日 2 時限	南 大沢 キャンパス	
キーワード	総合的 科目 (comprehensive class) ①ひらがな・カタカナ と N5 レベル の語彙、漢字 の 習得 。 ②日常 で 使う 簡単 な 日本語 を 理解 し、話 せるようになる。 ③言語 背景 を 知 り、日本 理解 を 深める。 基礎 日本語 基礎 日本語 I 5a/5m (火曜日 2 限)、5b/5n (火曜日 3 限)、5c/5o (金曜日 2 限) の 3 コマ を 通 じ た 予 定 1 週目 ～ 8 週目 UNIT 1 ～ 12 ひらがなカタカナの 習得 から 自己紹介、買 い 物 を したり 日 常 生 活 に つ い て かん た ん に 話 す こ と が で き る。 9 週目 中 間 テ ス ト 9 週目 ～ 1 4 週目 UNIT 13 ～ 26 現 在 し て い る こ と や 感 想 を 言 っ た り、自 分 の 希 望 を 話 し た り こ と が で き る。 1 5 週目 期 末 テ ス ト 予 定 詳 細 は 開 講 時 に 配 布 す る。 『TMU mic-J N 5』 (首都 大学 オリジナルテキスト) : 無 料 配 布 ” Japanese for busy people Kana Workbook for the Revised 3 rd Edition ” 講 談 社 イン タ ー ナ シ ョ ナ ル : 生 協 に て 各 自 購 入 の こ と そ の 他、適 宜 プ リ ン ト 等 配 布 平 常 点、課 題、中 間 試 験 及 び 期 末 試 験 の 結 果 に よ る 総 合 評 価 授 業 を 4 回 欠 席 し た 場 合、単 位 取 得 不 可 と す る。 火 曜 日 2 時 限、3 限 目、金 曜 日 2 時 限 の 3 つ の 授 業 を 受 講 す る こ と。(各 ク ラ ス の 内 容 に 連 続 性 が あ る た め) ま た 金 曜 日 3 時 限 の 「基 礎 日 本 語 I 5d/5p」 は こ の 授 業 の 復 習 や 発 展 形 で あ る。更 な る 実 力 養 成 の た め、こ れ も 合 わ せ て 受 講 す る こ と を 推 奨 す る。 レ ベ ル : 入 門、日 本 語 能 力 試 験 N5 程 度 欠 席 す る 場 合 は、事 前 に 担 当 教 員 に 何 ら か の 方 法 で 連 絡 す る こ と。					
習得 できる 知識・能力 や 授業 の 目的・到達 目標						
授業 計画・内容						
テキスト・参考書 等						
成績 評価 方法						
特記 事項						

科目名	基礎 日本語 I 5d・I 5p		科目 番号	FJ07・FJ08	単位数	1
担当 教員	わたなべ ちかこ 渡邊 千佳子	ぜんき こうき 前期・後期	きんようび じげん 金曜日 3時限		みなみおおさわ 南 大沢 キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class)					
授業 方針・テーマ	基礎 日本語 I 5a/5m (火曜日 2時限目) 基礎 日本語 I 5b/5n (火曜日 3時限目) 基礎 日本語 I 5c/5o (金曜日 2時限目) の連続 授業 に準じた 復習・応用 練習 を行う。					
習得 できる 知識・ 能力 や 授業 の 目的・ 到達 目標	①ひらがな・カタカナ と N5レベルの 語彙 の 習得。 ②日常 で 使う 簡単 な 日本語 を 理解 し、話 せるようになる。 ③言語 背景 を 知 り、日本 理解 を 深める。					
授業 計画・内容	1 週目～8週目 UNIT 1～12 に 準 じた 復習・応用 練習 9週目 中間 テスト 9週目～14週目 UNIT 13～26 に 準 じた 復習・応用 練習 15週目 期末 テスト 予定 詳細 は 開講 時 に 配布 する。					
テキスト・参考書 等	『TMU mic-J N5』 (首都 大学 オリジナルテキスト) 無料 配布 ” Japanese for busy people Kana Workbook for the Revised 3 rd Edition” 講談社 インター ナショナル：生協 にて 各自 購入 のこと					
成績 評価 方法	その 他、適宜 プリントを 配布。 平常点、期末 試験 の 結果 による 総合 評価 授業 を 4 回 欠席 した 場合、単位 取得 不可 とする。					
特記 事項	①基礎 日本語 I 5a/5m (火曜日 2時限目) 基礎 日本語 I 5b/5n (火曜日 3時限目) 基礎 日本語 I 5c/5o (金曜日 2時限目) の 授業 を 受講 する 学生 は 応用力 養成 のためにできるだけこの授業 も 受講 すること。 ②日本語 能力 試験 N5相当 のレベルであると 判断 できる 既習 の 学生 は①に 挙げた 授業 を 受講 しなくてもこの 授業 を 単独 で 受講 できる。 ・レベル：日本語 能力 試験 N5程度 ・欠席 する 場合は、事前に 担当 教員 に 何 らかの 方法 で 連絡 すること。					

科目名	基礎 日本語 I5e・I5q		科目番号	FJ09・FJ10	単位数	1
担当	井上 正子	前期・後期	水曜日	5 時限	みなみおおさわ 南 大沢 キャンパス	
教員						
キーワード	総合的科目 (comprehensive class)					
授業方針・テーマ	会話 語彙・表現					
習得 できる 知識・能力 や 授業 の 目的・到達 目標	1. 生活 に 必要 な 日本 語 でのコミュニケーションができる。 2. 日本 文化 を 理解 し、日本 語 の 基礎 を 身 につける。 3. 日本 語 の 基本的 な 発音 を 学 ぶ。					
授業 計画・内容	1 自己 紹介 ・ 文字 2 説明 する・質問 する 3 場所 を たずねる 4 買 い 物 を する 5 注文 する 6 ことば 形容詞・動詞 7 許可 を 得 る／理由 を 言 う 8 依頼 を する 9 交通 10 予定 や 行動 について 話 す 11 感想 を 言 う 12 食事 13 世間話 を する 14 誘 う 15 テスト・スピーチ					
テキスト・参考書 等	テキスト：『NIHONGO FUN & EASY』 緒方由希子ほか共著 ¥1,900-アスク 出版 <u>生協にて各自購入のこと</u> 参考書：『1日10分の発音練習』 河野俊之ほか共著 ¥2,000-くろしお出版 ほか					
成績 評価 方法	授業 を 4 回 欠席 で 単位 取得 不可。テストの受験 資格 なし。 20分 以上の 遅刻 及び 早退 は、3 回 で 欠席 1 回 とする。 授業 課題 (小 テストを 含む) 40% テスト 50% 出席 10%					
特記 事項	各回の 授業 内容 は 学習 課題 の 進捗 により 変更 することもある。					

科目名	基礎日本語 I 5f・I 5r			科目番号	FJ11・FJ12	単位数	1
担当教員	おおき りえ 大木 理恵		ぜん き こう き 前期・後期	げつようび 月曜日	5 じげん 5 時限	みなみおおさわ き ゃ ん ば す 南 大沢 キャンパス	
キーワード	会話 表現 聴解						
授業方針・テーマ	初級の日本語学習者に対して、初級の語彙や文型を使った応用会話ができるようになること、聴解では未習語があっても気にせず聞けるようになること、などの応用力を養成する。 授業の進度は、おおむね mic-J class と同じだが、未習文型が含まれる場合もある。 ひらがな・カタカナが書けることがこのクラスの受講条件である。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	・興味あることについて、質問ができるようになる。 ・その場に即した、丁寧な話し方／カジュアルな話し方ができるようになる。 ・いろいろな場面で使われる決まったフレーズなどの短い日本語表現を、正しいイントネーションで話せるようになる。 ・未習語があっても、前後関係などから推測ができるようになる。						
授業計画・内容	1 回目 コースガイダンス 及び、ウォーミングアップ 2 回目～13 回目 ディクテーションクイズ 基本表現の提示 サンプル会話、サンプル質問などによる課題理解 ロールプレイ練習など 聴解練習など 14 回目 復習 15 回目 期末試験 (場合によっては、8 回目に中間試験を行う) 授業でとりあげる話題の例 好きなもの、好きなこと、家族について、日常生活のこと、旅行について 授業でとりあげる表現の例 丁寧なお願いのしかた、丁寧な断りのしかた、話の切り出し、 など テキスト・参考書等 『日本語で行こう』『みんなの日本語』などから抜粋 自主作成教材 成績評価方法 出席、クイズ、課題、テストの得点、授業への積極的な参加を総合的に評価 特記事項 レベル：日本語能力試験 N5 程度 ・欠席する場合は、事前に担当教員にメールで連絡すること。 ・授業の最初に簡単なクイズを実施する。遅刻した場合は受験できない。 ・授業を4回欠席した場合、不合格とする。(20分以上の遅刻は、3回で欠席1回になる) ・期末試験(中間試験を実施した場合はそれも)を受験しなかった場合、不合格とする。						

科目名	基礎日本語 I 5g・I 5s I 5h・I 5t		科目番号	FJ13・FJ14 FJ15・FJ16	単位数	各 1
担当教員	田中 節子	前期・後期	水曜日	4・5 時限	日野キャンパス	
キーワード	会話 聴解 音 (サバイバル日本語)					
授業方針・テーマ	日常生活を送る上で遭遇する場面で対処できる「サバイバル日本語」を学ぶ。 進度はゆっくりしている。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	日常生活に必要な「話す」「聞く」を日常的な場面で使えるようにする。「ひらがな」「カタカナ」も勉強するが、あまり重視しない。					
授業計画・内容	1 回 Greeting useful expression ひらがな 2 回 ひらがな first meeting 3 回 ひらがな taking a taxi 4 回 ひらがな getting fast food 5 回 ひらがな shopping 6 回 カタカナ asking about time 7 回 カタカナ taking public transportation 8 回 カタカナ taking about schedules and routines 1 9 回 カタカナ taking about schedules and routines 2 10 回 カタカナ taking about schedules and routines 3 11 回 socializing 1 12 回 socializing 2 13 回 taking about leisure time 1 14 回 taking about leisure time 2 15 回 期末試験					
テキスト・参考書等	NIHONGO BreakThrough かな入門					
成績評価方法	平常点、期末試験の結果による総合評価。 授業を 4 回欠席した場合、単位取得不可とする。					
特記事項	レベル：日本語能力試験 N5 程度。 水曜日 4 時限・5 時限の連続授業。 欠席する場合は、担当の教員に連絡すること。 NIHONGO BreakThrough は購入すること。					

科目名		基礎 日本語 I 5i・I 5u		科目 番号		FJ17・FJ18		単 位 数		1	
担当 教員		やま だ ま ゆ み 山 田 真 弓		ぜん き こう き 前期・後期		もく よう び 木 曜 日		3 時 限		あら かわ き や ん ぼ す 荒 川 キ ャ ン パ ス	
キーワード		総合的 科目 (comprehensive class) 会話 聴解 文法 語彙・表現 発音									
授業 方針・テーマ		初級 前半 日本語 コース。日本 での 生活 に 必要 な 基礎 的 な 日本語 を 学 びます。各 ユニットに「何 ができるようになるか」という 目標 があります。ユニットが 終 わ っ た ら、できたかどうか 確 認 します。日 常 生 活 に 必要 な 知 識 や 日 本 文 化 に つ い て も 学 びます。ひらがな、カタカナ を 読 ん だ り、書 い た り します。									
習得 できる 知識・能力 や 授業 の 目的・到達 目標		授業 内容 に 毎 回 の 目標 があります。 ・ 日本 での 生活 に 必要 な 基礎 的 な 日本語 能力 が 習 得 できます。 ・ 大学 での 生活 に 最低 限 必要 な コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能力 が 養 成 できます。 ・ 生活、習慣、マナーなどの 一 般 的 な 日 本 事 情 お よ び 日 本 文 化 が 理 解 できます。 ・ ひらがな、カタカナ が 読 め る よう になります。									
授業 計画・内容		前期 後期 1 回目 U1 あいさつ、自己 紹 介 が できる 1 回目 U10 誘 う こと が できる 2 回目 U2 物 の 名 前 を 聞 く こと が できる 2 回目 U10 断 る こと が できる 3 回目 U3 場 所 を 聞 く こと が できる 3 回目 U11 人 や 物 が ある 場 所 が 聞 ける 4 回目 U3 フロア を 聞 く こと が できる 4 回目 U12 えき や 家 の ま わ り を 説 明 できる 5 回目 U4 時 間 を 聞 く こと が できる 5 回目 U13 国 の 紹 介 が できる 6 回目 U4 店 の 休 み を 聞 く こと が できる 6 回目 U13 感 想 を 話 す こと が できる 7 回目 U5 買 い 物 を する こと が できる 7 回目 U14 休 み に し た こと を 話 す こと が できる 8 回目 U5 レストラン で 注 文 が できる 8 回目 U14 駅 で 行 き 方 を 聞 く こと が できる 9 回目 テスト (1) 9 回目 テスト (1) U6 値 段 を 聞 く こと が できる U15 趣 味 に つ い て 話 す こと が できる 10 回目 U7 予 定 を 話 す こと が できる 10 回目 U15 好 み を 話 す こと が できる 11 回目 U7 電 車 に 乗 る こと が できる 11 回目 U16 し た い こと を 話 す こと が できる 12 回目 U8 1 日 の 行 動 が 話 せる 12 回目 U16 プレゼント の 相 談 が できる 13 回目 U8 1 週 間 の 行 動 が 話 せる 13 回目 U17 できる こと を 話 す こと が できる 14 回目 U9 休 み の 日 に し た こと が 話 せる 14 回目 U18 予 定 を 話 す こと が できる 15 回目 テスト (2) ま と め 15 回目 テスト (2) ま と め									
テキスト・参考書 等		TMU mic-J N5 改訂版 (首都 大学 オリジナルテキスト)									
成績 評価 方法		テスト 2 回 (40%×2)80%、平常点 (宿題・出席) 20%									
特記 事項		レベル：日本語 能力 試験 N5 程度									

かもくめい 科目名	基礎 日本語 I 4a・I 4m（月曜日2時限） I 4b・I 4n（水曜日1時限） I 4c・I 4o（水曜日2時限）	かもくばんごう 科目番号	FJ19・FJ20 FJ21・FJ22 FJ23・FJ24	たんいすう 単位数	各1
たんとう きょういん 担当 教員	わたなべ ちかこ 渡邊 千佳子	ぜんき こうき 前期・後期	げつようび じげん 月曜日2時限 すいようび じげん 水曜日1時限 すいようび じげん 水曜日2時限	みなみおおさわ 南大沢キャンパス	
キーワード		総合的科目（comprehensive class）			
じゅぎょうほうしん 授業方針・テーマ		しよきゅうにほんご きそ かいわりよく ぶんほうりよく ようせい にほん ちり ぶんか にほんご 初級 日本語の基礎 会話力・文法力を養成しながら、日本の地理や文化、日本語の こみゆにけーしょん ぶんか まな がくせい しゅっしんこく ちが し コミュニケーション文化を学び、学生の出身国との違いを知る。			
しゅうとく ちしき のうりよく じゅぎょう もくてき 習得できる知識・ 能力や授業の目的・ とうたつともくひょう 到達目標		にちじようせいかつ あいて いこう き と ひととお りかい のうりよく しゅうとく ・日常生活で相手の意向を聞き取り、一通り理解できる能力を習得する。 にほん ちり ぶんか りかい じこく ちり ぶんか かんたん しょうかい ・日本の地理や文化を理解し、自国の地理や文化を簡単に紹介することができる。			
じゅぎょうけいかく ないよう 授業計画・内容		きそ にほんご げつようび じげん すいようび じげん すいようび じげん 基礎 日本語 I 4a/4m（月曜日2時限）、4b/4n（水曜日1時限）、4c/4o（水曜日2時限） の3コマを通じた予定 1 しゅうめ しゅうめ 週目～8週目 UNIT 1～12 2 しゅうめ ちゅうかん 週目 中間テスト 3 しゅうめ しゅうめ 週目～14週目 UNIT 13～26 4 しゅうめ 週目 期末テスト よていしやうさい かいこう じ はいふ 予定詳細は開講時に配布する。			
てきすと さんこうしやう テキスト・参考書等		『TMU mic-J N4』 かいていばん しゅとだいがくおりじなるてきすと 改訂版（首都大学オリジナルテキスト） 『げんきⅡ』、『げんきⅡ わーくぶっく』（ジャパンタイムズ） その他、適宜プリント等配布			
せいせきひょうかほうほう 成績評価方法		へいじやうでん きまつしけん けつか そうごうひょうか 平常点・期末試験の結果による総合評価 じゅぎょう かいけつせき ばあい たんいしゅうとくふか 授業を4回欠席した場合、単位取得不可とする。			
とっきじこう 特記事項		げつようび じげん すいようび じげん すいようび じげん じゅぎょう じゅこう ①月曜日2時限、水曜日1時限、水曜日2時限の3つの授業を受講すること。（各クラス の内容に連続性があるため）また、月曜日3時限の「基礎 日本語 I 4d/4p」はこの授業の復習 や発展形である。更なる じつりよくようせい ため、これも合わせて受講することを推奨する。 ②レベル：日本語能力試験 N4程度 ③欠席する場合は、事前に けんとうきやういん なん ほうほう れんらく 担当教員に何らかの方法で連絡すること。			

科目名	基礎 日本語 I 4d・I 4p			科目 番号	FJ25・FJ26	単 位 数	1
担当 教員	やま だ ま ゆ み 山 田 真 弓	ぜん き こう き 前期・後期	げつようび 月曜日	じげん 3 時 限	みなみおおさわ き ゃ ん ぼ す 南 大 沢 キ ャ ン パ ス		
キーワード	総合的 科目 (comprehensive class) 会 話 文 法 語 彙 ・ 表 現						
授業 方針・テーマ	・ 日 本 語 初 級 後 半 コー ス 。 ・ 教 科 書 (TMU mic-J N4) で 学 ん だ 文 型 を 使 っ て、発 展 練 習 を し て い っ き ま す。そ し て、文 型 の 理 解 力、運 用 力 を さ ら に 高 め ま す。						
習得 できる 知識・ 能力 や 授業 の 目的・ 到達 目標	・ 日 常 生 活 で の さ ま ざ ま な 場 面 に 対 応 す る 会 話 力 が つ く。 ・ 学 習 し た 文 型 が し っ か り 身 に つ く。						
授業 計画・内容	基礎 日本語 I 4a, b, c (前 期) と 基礎 日本語 I 4m, n, o (後 期) で 勉 強 し た ユ ニ ッ ト 1-26 の 文 型 を 使 っ て 発 展 練 習 を し ま す。 1 回 目 Unit 1, Unit 2 2 回 目 Unit 3, Unit 4 3 回 目 Unit 5, Unit 6 4 回 目 Unit 7, Unit 8 5 回 目 Unit 9, Unit 10 6 回 目 Unit 11, Unit 12 7 回 目 Unit 13, Unit 14 8 回 目 テ ス ト (1) 9 回 目 Unit 15, Unit 16 10 回 目 Unit 17, Unit 18 11 回 目 Unit 19, Unit 20 12 回 目 Unit 21, Unit 22 13 回 目 Unit 23, Unit 24 14 回 目 Unit 25, Unit 26 15 回 目 テ ス ト (2) ま と め ※基礎 日本語 I 4a, b, c と 基礎 日本語 I 4m, n, o の 授 業 計 画 も 参 考 に し て く だ さ い。 TMU mic-J N5 改 訂 版 (首 都 大 学 オ リ ジ ナ ル テ キ ス ト) テ ス ト 2 回 (40%×2) 80%、 平 常 点 ・ 宿 題 20% レ ベ ル : 日 本 語 能 力 試 験 N 4 程 度						
テキスト・参考書 等							
成績 評価 方法							
特記 事項							

科目名	基礎日本語Ⅰ 4e・Ⅰ 4q			科目番号	FJ27・FJ28	単位数	1
担当教員	長谷川 守寿		前期・後期	水曜日	3 時限	南大沢キャンパス	
キーワード	会話						
授業方針・テーマ	日本語 初級 後半 から 中級 前半 の 会話						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	日本語 初級 後半 から 中級 前半 の 会話 能力、具体的にはいくつかの 簡単な テーマ について 短いスピーチ ができる 能力 を 習得 する。						
授業計画・内容	学部生・大学院生のチューターとの会話から、スクリプトを仕上げ、全体へのスピーチへと結びつけていく。以下のようなトピックを予定している。 1. 自己紹介 2. 私の国 3. 私の家族 4. 私の部屋 5. 私の趣味 6. 私の仕事・研究 7. 最近起きた面白かったこと 8. 夏休み／冬休みの予定 9. 私の好きなお話し 10. 私の好きな食べ物 11. 旅行の思い出 12. プレゼントについて 13. 日本に来てびっくりしたこと 14. 私の夢 なお、どのようなトピックについて話すかは、学習者のレベルによって変更する。						
テキスト・参考書等	なし						
成績評価方法	全体 授業 回数 の 3 分 の 2 以上 の 出席 が 必要 である。 30 分以上の遅刻・早退は欠席とする。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N4 程度						

科目名	基礎日本語 I 4f・I 4r			科目番号	FJ29・FJ30	単位数	1
担当教員	いのうえ しょうこ 井上 正子	前期・後期	火曜日	5 時限	南大沢キャンパス		
キーワード	総合的科目 (comprehensive class)						
授業方針・テーマ	聴解 発音						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	おんどく はつおん しょうかい 音読による発音 トレーニングと 聴解 トレーニング						
授業計画・内容	聞き手に伝わる発話力を身につける。(発音) しやうほう ただ き せいかく こうどう しょうかい 情報を正しく聞いて正確に行動する。(聴解)						
テキスト・参考書等	1. オリエンテーション し しょうかい たにん しょうかい 自己紹介する 他人を紹介する 2. ～14. おんどく ものがたり よ おんせい き おんどく 音読 物語を読む モデル音声を聞いて音読 (1作品を1～14回を通して実施) しょうかい しょうかい たんおん ことはば 単音・言葉／ ようけん 手順 しょうほう 聴解 1～14 情報 15. おんどく しょうかい 音読・聴解 テスト						
成績評価方法	授業のときにプリントをくばります。授業を休んだときは、自分でコピーしてください。 参考 『初級文型のできる にほんご発音 アクティビティ』 中川 千恵子ほか共著 アスク出版 『5分のできるにほんご音の聞きわけトレーニング』 宮本典以子ほか共著 スリーエーネットワーク『わくわく文法リスニング 99』 小林典子ほか共著 凡人社 など じゆぎょう けっせき たん いしゅとく ふ か じゆけんしかく 授業を4回 欠席で単位取得不可。テストの受験資格なし。 ぶんいじょう ちこく およ そろたい かい けっせき かい 20分以上の遅刻及び早退は、3回で欠席1回とする。 じゆぎょうか だい しょう ふく じゆっせき 授業課題 (小テストを含む) 40% テスト 40% 出席 20%						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N4 程度 各回の授業内容は学習課題の進捗により変更することもある。						

科目名	基礎 日本語 I 4g・I 4s			科目 番号	FJ31・FJ32	単 位 数	1																																
担当 教員	やま だ ま ゆ み 山 田 真 弓		ぜん き こ う き 前期・後期	もくよう び 木 曜 日	4 時 限	あらかわ き や ん ぼ す 荒 川 キャンパス																																	
キーワード	総合的 科目 (comprehensive class) 会 話 聴 解 文 法 語 彙 ・ 表 現 発 音 ・ 初級 後半 日本語 コース。 ・ 文法、ことば、表現 を使って、コミュニケーションする 力 をつけていきます。 ・ 生活 で 必要 な 場面 の 会話を 参考 に、考 える 活動 を 多く 取り 入れます。 ・ 各 ユニットに「何 ができる よう になる か」という 目標 があります。ユニットが 終わ ったら、できたかどうか 確認 します。 ・ 授業 内容 に 毎回の 目標 が 書 いて あります。 ・ 生活 で 必要 な 場面 の 会話を 習得 できます。 習得 できる 知識 ・ 能力 や 授業 の 目的 ・ 到達 目標 授業 計画 ・ 内容 基礎 日本語 I 4a, b, c (前期) と 基礎 日本語 I 4m, n, o (後 期) で 勉強 した ユニット 1-26 の 文型 を 使って 発展 練習 を します。 <table><tr><td>ぜん き 前期</td><td>後期</td></tr><tr><td>1 回 目 U1 事情 を 説明 できる</td><td>1 回 目 U7 謝 る ことができる</td></tr><tr><td>2 回 目 U1 対比 することができる</td><td>2 回 目 U8 親切 に された ことを 話 せる</td></tr><tr><td>3 回 目 U2 国 の 紹介 ができる</td><td>3 回 目 U8 方法 が 聞 ける</td></tr><tr><td>4 回 目 U2 好 み について 話 せる</td><td>4 回 目 U9 ていねい に 依頼 ができる</td></tr><tr><td>5 回 目 U3 持 ち 物 について 話 せる</td><td>5 回 目 U9 期限 が 聞 ける</td></tr><tr><td>6 回 目 U3 着 ている 服 について 話 せる</td><td>6 回 目 U10 感 想 を 話 す ことができる</td></tr><tr><td>7 回 目 U4 食 べ 物 や 場所 を 紹介 できる</td><td>7 回 目 U10 意 向 を 話 す ことができる</td></tr><tr><td>8 回 目 U4 試 してみる ことができる</td><td>8 回 目 U10 し なければ ならない ことが 話 せる</td></tr><tr><td>9 回 目 テスト (1)</td><td>9 回 目 テスト (1)</td></tr><tr><td>10 回 目 U5 変 化 を 話 す ことができる</td><td>10 回 目 U11 アパート や 寮 について 話 せる</td></tr><tr><td>11 回 目 U5 道 を 教 える ことができる</td><td>11 回 目 U11 食 べ 過 ぎ、飲 み 過 ぎ を 注意 できる</td></tr><tr><td>12 回 目 U6 できる こと について 話 せる</td><td>12 回 目 U12 見 た 印象 を 話 す ことができる</td></tr><tr><td>13 回 目 U6 予定 を 話 す ことができる</td><td>13 回 目 U12 旅行 の 詳 しい 予定 が 決 め られる</td></tr><tr><td>14 回 目 U7 窓 から 見 える 風景 を 話 せる</td><td>14 回 目 U13 はっきり し ない 予定 に ついて 話 せる</td></tr><tr><td>15 回 目 テスト (2) まとめ</td><td>15 回 目 テスト (2) まとめ</td></tr></table> T TMU mic-J N5 および N4 改訂版 (首都 大学 オリジナルテキスト) テスト 2 回 (40%×2) 80%、平常点 ・ 宿題 ・ 出席 20% レベル：日本語 能力 試験 N4 程度							ぜん き 前期	後期	1 回 目 U1 事情 を 説明 できる	1 回 目 U7 謝 る ことができる	2 回 目 U1 対比 することができる	2 回 目 U8 親切 に された ことを 話 せる	3 回 目 U2 国 の 紹介 ができる	3 回 目 U8 方法 が 聞 ける	4 回 目 U2 好 み について 話 せる	4 回 目 U9 ていねい に 依頼 ができる	5 回 目 U3 持 ち 物 について 話 せる	5 回 目 U9 期限 が 聞 ける	6 回 目 U3 着 ている 服 について 話 せる	6 回 目 U10 感 想 を 話 す ことができる	7 回 目 U4 食 べ 物 や 場所 を 紹介 できる	7 回 目 U10 意 向 を 話 す ことができる	8 回 目 U4 試 してみる ことができる	8 回 目 U10 し なければ ならない ことが 話 せる	9 回 目 テスト (1)	9 回 目 テスト (1)	10 回 目 U5 変 化 を 話 す ことができる	10 回 目 U11 アパート や 寮 について 話 せる	11 回 目 U5 道 を 教 える ことができる	11 回 目 U11 食 べ 過 ぎ、飲 み 過 ぎ を 注意 できる	12 回 目 U6 できる こと について 話 せる	12 回 目 U12 見 た 印象 を 話 す ことができる	13 回 目 U6 予定 を 話 す ことができる	13 回 目 U12 旅行 の 詳 しい 予定 が 決 め られる	14 回 目 U7 窓 から 見 える 風景 を 話 せる	14 回 目 U13 はっきり し ない 予定 に ついて 話 せる	15 回 目 テスト (2) まとめ	15 回 目 テスト (2) まとめ
ぜん き 前期	後期																																						
1 回 目 U1 事情 を 説明 できる	1 回 目 U7 謝 る ことができる																																						
2 回 目 U1 対比 することができる	2 回 目 U8 親切 に された ことを 話 せる																																						
3 回 目 U2 国 の 紹介 ができる	3 回 目 U8 方法 が 聞 ける																																						
4 回 目 U2 好 み について 話 せる	4 回 目 U9 ていねい に 依頼 ができる																																						
5 回 目 U3 持 ち 物 について 話 せる	5 回 目 U9 期限 が 聞 ける																																						
6 回 目 U3 着 ている 服 について 話 せる	6 回 目 U10 感 想 を 話 す ことができる																																						
7 回 目 U4 食 べ 物 や 場所 を 紹介 できる	7 回 目 U10 意 向 を 話 す ことができる																																						
8 回 目 U4 試 してみる ことができる	8 回 目 U10 し なければ ならない ことが 話 せる																																						
9 回 目 テスト (1)	9 回 目 テスト (1)																																						
10 回 目 U5 変 化 を 話 す ことができる	10 回 目 U11 アパート や 寮 について 話 せる																																						
11 回 目 U5 道 を 教 える ことができる	11 回 目 U11 食 べ 過 ぎ、飲 み 過 ぎ を 注意 できる																																						
12 回 目 U6 できる こと について 話 せる	12 回 目 U12 見 た 印象 を 話 す ことができる																																						
13 回 目 U6 予定 を 話 す ことができる	13 回 目 U12 旅行 の 詳 しい 予定 が 決 め られる																																						
14 回 目 U7 窓 から 見 える 風景 を 話 せる	14 回 目 U13 はっきり し ない 予定 に ついて 話 せる																																						
15 回 目 テスト (2) まとめ	15 回 目 テスト (2) まとめ																																						
テキスト ・ 参考書 等	T TMU mic-J N5 および N4 改訂版 (首都 大学 オリジナルテキスト)																																						
成績 評価 方法	テスト 2 回 (40%×2) 80%、平常点 ・ 宿題 ・ 出席 20%																																						
特記 事項	レベル：日本語 能力 試験 N4 程度																																						

科目名	基礎 日本語 II 3a・II 3m		科目番号	FJ33・FJ34	単位数	1
担当教員	井上 正子	前期・後期	火 曜日	4 時限	みなみおおさわ 南 大沢 キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class)					
授業方針・テーマ	4 機能 日本語でのコミュニケーション力を身につける。 文作のための情報 収集 (読む・聞く) 文作 (書く) 音読 (話す) の4技能を使って日本語の運用できることを目指す。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	事物を描写し、文章として整理し話す。 テーマ (画像・映像を含む) について文章を書いて整理し、音読する。 日本語の発音に注意して音読することができる。 音読の練習を積み、聞き手に伝わる話し方ができることを目指す。					
授業計画・内容	1. 初級の復習 1 (助詞、助数詞、授受) 2. 初級の復習 2 (自動詞、他動詞) 3. 初級の復習 3 (受身、使役、使役受身) 4. 情報を伝える1 (人物描写、文脈指示) 5. 情報を伝える2 (事物描写 食) 6. 情報を伝える3 (事物描写 位置・空間) 7. 情報を伝える3 (事物描写 位置・空間) 8. 情報を伝える4 (事物描写 比較) 9. 情報を伝える5 (事物描写 原因・結果) 10. 情報を伝える6 (事物描写 比較・推奨) 11. 情報を伝える7 (事物描写 理由・依頼) 12. 情報を伝える8 (ニュース、情報 記事) 13. 情報を伝える9 (ニュース、情報 記事) 14. 情報を伝える10 (意見) 15. テスト					
テキスト・参考書等	テキスト：なし。プリント 配布 (プリント 配布は 授業 当日のみ。) 参考：にほんご発音 アクティビティ、1日10分の発音 練習 初級 日本語 表現 文型 ドリルなど					
成績評価方法	授業を4回 欠席で単位 取得 不可。テストの受験 資格 なし。 20分以上の遅刻 及び 早退は、3回で欠席1回とする。 授業 課題 40% テスト 50% 出席 10%					
特記事項	レベル：日本語能力試験 N3程度 各回の授業内容は学習 課題の進捗により変更することもある。					

科目名	基礎日本語Ⅱ3b・Ⅱ3n			科目番号	FJ35・FJ36	単位数	1
担当教員	おおき りえ 大木 理恵		ぜん き こう き 前期・後期	げつようび 月曜日	4 時限	みなみおおさわ き ゃ ん ぼ す 南 大沢 キャンパス	
キーワード	聴解 作文 語彙・表現						
授業方針・テーマ	しょきゅう がくしゅう しゅうりょう れ べ る がくせい たい ちょうかい い ぐち はな か 初級の学習が終了したレベルの学生に対して、聴解を入り口として、話す、書くなどの そうごうてき のうりよく おうようりよく ようせい 総合的な能力、応用力を養成する。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	だいがく おこな じゆぎょう せき じりき の ーと ききりよく ようせい 大学で行われる授業を聞いて、自力でノートがとれるようになる基礎力を養成する。 がくしゅうしゃ みちか わだ いにほん ぶんか わだ いにほんぶんか りかい 学習者に身近な話題や日本の文化などの話題を通して、日本文化を理解する。 き はなし ないよう じぶん みじか ・聞いた話の内容を、自分のことばで短くまとめることができるようになる。 はなし だいがい かんれん じこく ぶんか れきし ・聞いた話の題材をもとに、関連した自国の文化や歴史、社会などについて、説明 できる ようになる。						
授業計画・内容	1 回目 コースガイダンス 及び ウォーミングアップ 課題 2 回目～13 回目 前回の授業の語彙クイズ (8 回目を除く) あたら しいトピックの視聴 						

科目名		基礎 日本語 II 3c・II 3o		科目 番号		FJ37・FJ38	単 位 数		1																																																																		
担当 教員		やま だ ま ゆ み 山 田 真 弓		ぜん き こう き 前期・後期		きん よ う び 金 曜 日		じ げ ん 3 時 限		みなみおおさわ き や ん ぼ す 南 大 沢 キ ャ ン パ ス																																																																	
キーワード		総合的 科目 (comprehensive class) 会 話 読 解 聴 解 語 彙 ・ 表 現 日 本 事 情																																																																									
授業 方針・テーマ		・ マンガを使って、日本語の 表現 や日本について 学 びます。 ・ テーマは1月から12月までの日本の 行事 (event)です。 ・ インターネットで 行事 の 写真 や 動画 (movie)を見ます。																																																																									
習得 できる 知識・能力 や 授業 の 目的・到達 目標		・ 日本人の 考 え 方 や 文 化 が わ か る。 ・ 類義 語 (synonymous)の 使 い 方 が わ か る。																																																																									
授業 計画・内容		<table><tr><td colspan="2">ぜん き 前期</td><td colspan="2">こう き 後期</td></tr><tr><td>1 回 目</td><td>ガイダンス</td><td>1 回 目</td><td>ガイダンス</td></tr><tr><td>2 回 目</td><td>4 月 (1) 「自分」の 呼 び 方</td><td>2 回 目</td><td>1 0 月 (1) 「太 っ て い る」の 言 い 方</td></tr><tr><td>3 回 目</td><td>4 月 (2) 花 見</td><td>3 回 目</td><td>1 0 月 (2) 温 泉</td></tr><tr><td>4 回 目</td><td>5 月 (1) 「トイレ」の 言 い 方</td><td>4 回 目</td><td>1 1 月 (1) お 祝 い</td></tr><tr><td>5 回 目</td><td>5 月 (2) 5 月 病</td><td>5 回 目</td><td>1 1 月 (2) 「妻」の 言 い 方</td></tr><tr><td>6 回 目</td><td>6 月 (1) 「すみません」の 言 い 方</td><td>6 回 目</td><td>1 2 月 (1) 日本のクリスマス</td></tr><tr><td>7 回 目</td><td>6 月 (2) 梅 雨</td><td>7 回 目</td><td>1 2 月 (2) 大 そ う じ</td></tr><tr><td>8 回 目</td><td>7 月 (1) 「暑 い」「熱 い」など</td><td>8 回 目</td><td>1 月 (1) お 正 月 の 習 慣</td></tr><tr><td>9 回 目</td><td>7 月 (2) ほめる 表 現</td><td>9 回 目</td><td>1 月 (2) 「初」の つ く こ と ば</td></tr><tr><td>10 回 目</td><td>テスト (1) ま と め</td><td>10 回 目</td><td>テスト (1) ま と め</td></tr><tr><td>11 回 目</td><td>8 月 (1) 着 物</td><td>11 回 目</td><td>2 月 (1) 節 分</td></tr><tr><td>12 回 目</td><td>8 月 (2) 涼 し い も の</td><td>12 回 目</td><td>2 月 (2) 受 験 シ ー ズ ン</td></tr><tr><td>13 回 目</td><td>9 月 (1) 「お母さん」の 呼 び 方</td><td>13 回 目</td><td>3 月 (1) 「別 れ」についての こと ば</td></tr><tr><td>14 回 目</td><td>9 月 (2) 月 についての こと ば</td><td>14 回 目</td><td>3 月 (2) お 返 し の 文 化</td></tr><tr><td>15 回 目</td><td>テスト (2) ま と め</td><td>15 回 目</td><td>テスト (2) ま と め</td></tr></table>										ぜん き 前期		こう き 後期		1 回 目	ガイダンス	1 回 目	ガイダンス	2 回 目	4 月 (1) 「自分」の 呼 び 方	2 回 目	1 0 月 (1) 「太 っ て い る」の 言 い 方	3 回 目	4 月 (2) 花 見	3 回 目	1 0 月 (2) 温 泉	4 回 目	5 月 (1) 「トイレ」の 言 い 方	4 回 目	1 1 月 (1) お 祝 い	5 回 目	5 月 (2) 5 月 病	5 回 目	1 1 月 (2) 「妻」の 言 い 方	6 回 目	6 月 (1) 「すみません」の 言 い 方	6 回 目	1 2 月 (1) 日本のクリスマス	7 回 目	6 月 (2) 梅 雨	7 回 目	1 2 月 (2) 大 そ う じ	8 回 目	7 月 (1) 「暑 い」「熱 い」など	8 回 目	1 月 (1) お 正 月 の 習 慣	9 回 目	7 月 (2) ほめる 表 現	9 回 目	1 月 (2) 「初」の つ く こ と ば	10 回 目	テスト (1) ま と め	10 回 目	テスト (1) ま と め	11 回 目	8 月 (1) 着 物	11 回 目	2 月 (1) 節 分	12 回 目	8 月 (2) 涼 し い も の	12 回 目	2 月 (2) 受 験 シ ー ズ ン	13 回 目	9 月 (1) 「お母さん」の 呼 び 方	13 回 目	3 月 (1) 「別 れ」についての こと ば	14 回 目	9 月 (2) 月 についての こと ば	14 回 目	3 月 (2) お 返 し の 文 化	15 回 目	テスト (2) ま と め	15 回 目	テスト (2) ま と め
ぜん き 前期		こう き 後期																																																																									
1 回 目	ガイダンス	1 回 目	ガイダンス																																																																								
2 回 目	4 月 (1) 「自分」の 呼 び 方	2 回 目	1 0 月 (1) 「太 っ て い る」の 言 い 方																																																																								
3 回 目	4 月 (2) 花 見	3 回 目	1 0 月 (2) 温 泉																																																																								
4 回 目	5 月 (1) 「トイレ」の 言 い 方	4 回 目	1 1 月 (1) お 祝 い																																																																								
5 回 目	5 月 (2) 5 月 病	5 回 目	1 1 月 (2) 「妻」の 言 い 方																																																																								
6 回 目	6 月 (1) 「すみません」の 言 い 方	6 回 目	1 2 月 (1) 日本のクリスマス																																																																								
7 回 目	6 月 (2) 梅 雨	7 回 目	1 2 月 (2) 大 そ う じ																																																																								
8 回 目	7 月 (1) 「暑 い」「熱 い」など	8 回 目	1 月 (1) お 正 月 の 習 慣																																																																								
9 回 目	7 月 (2) ほめる 表 現	9 回 目	1 月 (2) 「初」の つ く こ と ば																																																																								
10 回 目	テスト (1) ま と め	10 回 目	テスト (1) ま と め																																																																								
11 回 目	8 月 (1) 着 物	11 回 目	2 月 (1) 節 分																																																																								
12 回 目	8 月 (2) 涼 し い も の	12 回 目	2 月 (2) 受 験 シ ー ズ ン																																																																								
13 回 目	9 月 (1) 「お母さん」の 呼 び 方	13 回 目	3 月 (1) 「別 れ」についての こと ば																																																																								
14 回 目	9 月 (2) 月 についての こと ば	14 回 目	3 月 (2) お 返 し の 文 化																																																																								
15 回 目	テスト (2) ま と め	15 回 目	テスト (2) ま と め																																																																								
テキスト・参考書 等		『マンガで 学 ぶ 日 本 語 表 現 と 日 本 文 化 多 辺 田 家 が 行 く !!』 アルク 2 1 6 0 円 (2000 円+tax) ISBN : 9784757416307																																																																									
成績 評価 方法		テ ス ト 2 回 (40%×2)80% 平 常 点 (宿 題 ・ 出 席) 20%																																																																									
特記 事項		レ ベ ル : 日 本 語 能 力 試 験 N 3 程 度																																																																									

科目名	基礎日本語Ⅱ3d・Ⅱ3p			科目番号	FJ39・FJ40	単位数	1
担当教員	井上 正子		前期・後期	水曜日	4 時限	南大沢キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class) 語彙・表現						
授業方針・テーマ	交換留学生のための生活言語 (語彙が中心)						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	日本人の習慣などに触れながら、日本での生活に必要な語彙や表現を学ぶ						
授業計画・内容	1 週～14 週まで unit1～14 テーマは「新学期から修了 (帰国) までの日本語」 15 週目 期末テスト 予定詳細は開講時に配布。						
テキスト・参考書等	『TMU mic-J N3』 (首都大学オリジナルテキスト): 無料配布 ←予定 オリジナルテキストが完成しなかった場合は、各ユニットごとプリントとして配布。 授業のときにプリントを配布。授業を休んだ場合、各自コピーのこと。						
成績評価方法	授業を4回欠席で単位取得不可。テストの受験資格なし。 20分以上の遅刻及び早退は、3回で欠席1回とする。 授業課題 (小テストを含む) 30% テスト 50% 出席 20%						
特記事項	レベル: 日本語能力試験 N3 程度 各回の授業内容は学習課題の進捗により変更することもある。						

科目名	基礎日本語Ⅱ3e・Ⅱ3q			科目番号	FJ41・FJ42	単位数	1
担当教員	奥野 由紀子	前期・後期	月曜日	5時限	南大沢キャンパス		
キーワード	会話 聴解						
授業方針・テーマ	みなさんのレベルに合わせて日本語での「はなす」「きく」コミュニケーションの力をのばします。						
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	実際のコミュニケーション場面を考えた、「話す」「聞く」力をのばすために、「タスク」を通して練習します。 「タスク」を達成するために、必要な文型や語彙も練習します。日本語教育が専門の大学院生も一緒に勉強します。 日本についてみなさんが興味のあることについて、プロジェクトワークも行います。						
授業計画・内容	1 オリエンテーション、じこしょうかい 2 どんな場面で困るか 3 きくタスク1・はなすタスク1 4 きくタスク2・はなすタスク2 5 きくタスク3・はなすタスク3 6 きくタスク4・はなすタスク4 7 プロジェクトワーク テーマ決め 8 テーマ・アンケート案提出 9 院生のじゅぎょう 10 院生のじゅぎょう 11 院生のじゅぎょう 12 院生のじゅぎょう 13 発表とテストの練習 14 はなすタスク テスト 15 プロジェクトワークはっぴょう						
テキスト・参考書等	参考書 『生きた素材で学ぶ 新中級から上級への日本語 ワークブック』ジャパントイムズ 『生教材でまなぶ なりきりリスニング』ジャパントイムズ（出版予定）						
成績評価方法	出席、参加度、提出物など 50％ はなすタスクテスト 15％ プロジェクト発表 25％						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N3 程度						

科目名	基礎日本語Ⅱ2a・Ⅱ2m			科目番号	FJ43・FJ44	単位数	1
担当教員	黒田 史彦	前期・後期	水曜日	3 時限	南大沢キャンパス		
キーワード	語彙・表現 聴解						
授業方針・テーマ	1. テレビドラマ『やまとなでしこ』などを見ながら、どのような場面で、どのような口語表現を使うと自然な日本語になるか学びます。 2. 性別や丁寧さなどによって変化する日本語のバリエーションについて学びます。 3. ドラマの内容理解、「あらすじ」の要約、セリフのディクテーション、誤用訂正、知らない語彙／表現の意味の推測、今後のストーリー展開の予想などについて、グループ／ペアで話し合いながら取り組みます。宿題になることもあります。 4. 「自分の好きなセリフ」についてまとめ、口頭発表します。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	1. 口語表現のバリエーションに関する知識を身につけ、その運用能力を高める。 2. テレビドラマや映画を日本語で視聴し、おおよその内容が理解できるようになる。 3. グループ／ペアで話し合い、自分（たち）の意見をまとめて発表できるようになる。						
授業計画・内容	第1週：ガイダンス、ドラマなど 第2週：『やまとなでしこ』第1話 第3週：『やまとなでしこ』第2話 第4週：『やまとなでしこ』第3話 第5週：『やまとなでしこ』第4話 第6週：『やまとなでしこ』第5話 第7週：『やまとなでしこ』第6話 第8週：『やまとなでしこ』第7話 第9週：『やまとなでしこ』第8話 第10週：『やまとなでしこ』第9話 第11週：『やまとなでしこ』第10話 第12週：『やまとなでしこ』第11話 第13週：その他のドラマなど 第14週：口頭発表① 第15週：口頭発表② ※欠席するとストーリーが分からなくなるため、授業活動に参加できなくなります。 ※受講者数やクラスの状況などによって、スケジュールを変更する場合があります。						
テキスト・参考書等	『ドラマ やまとなでしこで日本語を学ぼう！』 山根智恵・佐藤友子・児玉正子 ふくろう出版 1,714 円＋税						
成績評価方法	授業参加度 30% 宿題への取り組み 30% 出席 30% 口頭発表 10%						
特記事項	・レベル：日本語能力試験 N2 程度 ・この授業では、グループ／ペアによる話し合いへの積極的な参加が必要です。グループ／ペア活動が向いていない人には、受講をお勧めできません。 ・4 回以上欠席した場合、早退・遅刻が多い場合、そして、口頭発表をしなかった場合には、単位は出ません。						

科目名	基礎日本語Ⅱ2b・Ⅱ2n			科目番号	FJ45・FJ46	単位数	1
担当教員	田中 節子	前期・後期	水曜日	2 時限	南大沢キャンパス		
キーワード	読解・漢字・表現 (新聞記事) (最新トピック)						
授業方針・テーマ	最新のトピックを新聞記事から読みとき、日本の現状を知る。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	最新の日本経済新聞の記事を読んで討論し、内容を要約して感想を書くこととする。 新聞に出てくる表現や漢字を学ぶ。そのために、記事の漢字の読み方のリストを配布する。 毎回、記事の漢字や表現についての小テストを実施する。 上級の漢字（主に 2 級漢字）を宿題に出し、漢字力の底上げを図る。						
授業計画・内容	1 回～14 回 ① 日本経済新聞（最新トピック） 読んで話して、要約・感想を書く。 ② 宿題 上級の漢字（主に 2 級レベル）10～15 程度を自宅で学習する。 ③ 翌週に宿題の答え合わせをして、関連した慣用表現を学ぶ。 ④ 翌週に新聞記事の漢字と慣用表現の小テストを受ける。 15 回 期末試験						
テキスト・参考書等	日本経済新聞 上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙（上級編）						
成績評価方法	平常点 60%、課題提出20%、期末試験の結果20%の総合評価。 授業を 4 回欠席した場合、単位取得不可とする。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N2 程度 欠席する場合は、事前に担当教員に連絡すること。						

科目名	基礎 日本語 II 2c・II 2o			科目 番号	FJ47・FJ48	単 位 数	1
担当 教員	やまだ まゆみ 山田 真弓		ぜんき こうき 前期・後期	きんよう び 金曜日	4 じげん 4 時限	みなみおおさわ きゃん ぽす 南 大沢 キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class) 作文・論文 読解 語彙・表現 漢字						
授業 方針・テーマ	中級日本語クラス。 論理的 な日本語の 文章 を書くために 必要 な 表現 と 構成 を学ぶ。 ・ 大学で必要な書く力を 育 てます。 ・ 日本の社会的、文化的 背景 の 知識 を 理解 する。 ・ テーマ：学生 寮 、インターネットショッピング、環境 問題 など ・ 論理的な文章を書くために必要な表現と構成を 習得 できる。 ・ レポートを書くための 基礎 知識を習得できる。 ・ 日本の社会的、文化的を 背景 を知ること、より 深 い理解が 得 られる。						
授業 計画・内容	前期 1 回目～2 回目 (1) 簡潔 に 回答 する (2) 学生寮 3 回目～4 回目 (1) 情報 を 文章 にする (2) テーマパーク 5 回目～6 回目 (1) 状 況 を説明し、意見を述べる (2) 迷惑 行為 7 回目～9 回目 (1) 段落 を作る (2) ネットショッピング 10 回目～12 回目 (1) 体験したことを 報告 する文を書く (2) 歌舞伎 13 回目～14 回目 (1) テーマに 沿 った文を書く (2) 環境 問題 15 回目 発表 後期 1 回目～2 回目 (1) 自分をアピールする文を書く (2) 就 職 活動 3 回目～4 回目 (1) レポートの 基礎 知識 (2) 地震 5 回目～6 回目 (1) レポートの 構成 7 回目～9 回目 (1) レポートを 順序 立 てて書く (2) バイオマス 10 回目～12 回目 (1) 引用 してレポートを書く (2) 少子化 問題 13 回目～14 回目 (1) 資料 を利用して、レポートを書く (2) 就 職 しない 若者 15 回目 発表						
テキスト・参考書 等	『大学で学ぶための日本語ライティング』ジャパンタイム ISBN 9784789012218 1994 円 (1800 円+税)						
成績 評価 方法	発表 40%、レポート 40% 平常 点 (出席、授業への参加度) 10%、提出物 10%						
特記 事項	レベル：日本語能力試験 N2程度						

科目名	基礎日本語Ⅱ2d・Ⅱ2p			科目番号	FJ49・FJ50	単位数	1
担当教員	わたなべ ちかこ 渡邊 千佳子	前期・後期	火曜日	1 時限	南大沢キャンパス		
キーワード	総合的科目 (comprehensive class)						
	会話 聴解 発音						
授業方針・テーマ	大学生生活、日常生活において必要な会話、聴解力を発展させる。 教室活動の中で文法にも注意を向け総合力強化へと結びつける。 シャドーイングによって聞き取りやすい発音、発話ができるように 目指す。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	・ 日本文化や習慣についての知識を増やす。 ・ 上級話者を目指し日本語らしい表現方法を身につける。 ・ 聞きやすいなめらかな発話力を身につける。 ・ 日常会話の聞き取りにとどまらず 広範囲 なトピックにおける 聴 解 力 を 向 上 さ せ る。						
授業計画・内容	第1回 会話：自己紹介、オリエンテーション、聴解1、シャドーイング 第2回 会話：手順説明、ほめる 聴解2、シャドーイング 第3回 会話：なぐさめる、はげます 聴解3、シャドーイング 第4回 会話：電話での伝言 聴解4、シャドーイング 第5回 会話：状況の説明をする1 聴解5、シャドーイング 第6回 会話：問い合わせをする 聴解6、シャドーイング 第7回 会話：ていねいな依頼をする 聴解7、シャドーイング 第8回 会話：アドバイスを求める 聴解8、シャドーイング 第9回 会話：謝る 聴解9、シャドーイング 第10回 会話：話題を提供する話題を広げる 聴解10、シャドーイング 第11回 会話：状況の説明する2 聴解11、シャドーイング 第12回 会話：議論をする 聴解12、シャドーイング 第13回 会話：相談する 聴解13、シャドーイング 第14回 会話：提案をする 聴解14、シャドーイング 第15回 期末テスト						
テキスト・参考書等	『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』スリーエーネットワーク 『毎日の聞き取り plus40 上』『毎日の聞き取り plus40 下』凡人社 その他、適宜 プリント配布。						
成績評価方法	平常点、課題、中間試験及び期末試験の結果による総合評価 授業を4回欠席した場合、単位取得不可とする。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N2 程度						

科目名	基礎日本語Ⅱ2e・Ⅱ2q			科目番号	FJ51・FJ52		
担当教員	黒田 史彦	前期・後期	月曜日	3時限	南大沢キャンパス		
キーワード	発音						
授業方針・テーマ	1. これから日本語能力試験N2を受験しようと思っている学生や、発音をよくしたいと考えている学生のためのクラスです。 2. ひとつひとつの音の発音方法は勉強しませんが、文やフレーズの自然な発音方法について勉強して、たくさん練習します。 3. 特に、日本語のイントネーションやリズムの感覚を身につけます。 4. 毎回、スピーチのための原稿を書いて、イントネーションを調べる宿題があります。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	1. 「聞きやすく、伝わりやすい発音」を身につける。 2. 「話し手にとって言いやすい発音」を学ぶ。 3. 自分で発音練習が続けられるようになる。						
授業計画・内容	第1週：ガイダンス、「始める前に」、第4章1「基礎①」～4「基礎④」 第2週：第1章1「歓迎！ 食べ歩きサークル」、第2章1「講演会、行く？」 第3週：第1章2「日本びっくり体験」、第2章2「富士山に登ったことがあります？」 第4週：第1章3「理想の彼・彼女」、第2章3「また太っちゃった」 第5週：第1章4「桃太郎アメリカ人伝説」、第2章4「うんうん、で？」 第6週：第1章5「私のストレス解消法」、第2章5「お席を替わっていただけませんか」、 第7週：第1章6「ホームカミングデーによろこそ」、第2章6「コスプレって何？」 第8週：第2章7「手作り料理を召し上がれ」、第2章7「やったー！」 第9週：第3章8「今日ご紹介する商品はこちら！」 第2章8「頭はズキズキ、胸はムカムカ…」 第10週：第1章9「おめでたいニュースです」、第2章9「いい店じゃない？」 第11週：第1章10「日本語コースを終えて」、第2章10「行きましょうよ！」 第12週：第3章1「日本の若者について」、第3章2「バレンタインチョコレート」 第13週：第3章3「ペットにするなら、どちら？」、第3章4「血液型で性格がわかる？」 第14週：第3章5「結婚を許してください」、第4章5「山の複合名詞」～ 第15週：まとめ、口頭発表、相互評価 ※受講者数等により、授業計画は変更になることがあります。						
テキスト・参考書等	『伝わる発音が身につく！ にほんご話し方トレーニング（中・上級レベル）』 中川千恵子・木原郁子・赤木浩文・篠原亜紀（著） アスク出版 ￥1,800+税 ※教科書は自分で買ってください。						
成績評価方法	出席：30% 授業参加度：30% 宿題への取り組み：30% 口頭発表：10%						
特記事項	・レベル：日本語能力試験 N2程度 ・4回以上欠席した場合、早退・遅刻が多い場合、そして、口頭発表をしなかった場合には単位が出ません。 ・クラスの中で、大きな声を出して発音の練習をします。 ・クラスメイト全員の前で発音・発表することもあります。						

か も く め い 科目名	き そ に ほ ん 語 基礎 日本語 Ⅲ1a・Ⅲ1m			か も く ぼ ん ぐ 科目 番号	FJ53・FJ54	た ん い す う 単位数	1
た ん と う 担 当 教 員	う め お か 梅 岡 巳 香	前 期 ・ 後 期	木 曜 日	3 時 限	みなみおおさわ 南 大 沢 キャンパス		
じ ゅ ぎ ょ う ほう し ん 授 業 方 針 ・ テー マ	文法学習：これまでの「だいたい理解できる」から「正しく理解して正しく使える」日本語を身につける。 スピーチ練習：人の前で話すことに慣れる。さらに、聞き手を意識して話せるように練習を繰り返す。 レジュメ作成練習：伝えたいことの要点を取り上げたり、どのように表記していくかを、数回の練習しつつ、クラスでよいレジュメはどのようなものかさぐっていく。 プレゼンテーション練習：パワーポイントを使い、視覚に訴える部分と口頭での発表部分を練習する。						
し ゅ う と く の う り よ く 習 得 で き る 知 識 ・ 能 力 や 授 業 の 目 的 ・ と う た つ も く ひ ょ う 到 達 目 標	①文法を正しく理解し、使えるようになる ②大学での学習に必要となる、ゼミ等での発表ができるようになる						
じ ゅ ぎ ょ う け い かく 授 業 計 画 ・ 内 容	前期 1 回目 オリエンテーション（前期授業内容説明及びスピーチの順序決め） 2 回目 3 分間スピーチ 1 回目 ・ 文法学習「『は』と『が』」 3 回目 3 分間スピーチ 1 回目 ・ 文法学習「『は』と『が』」 4 回目 3 分間スピーチ 1 回目 ・ 文法学習「『は』と『が』」 5 回目 3 分間スピーチ 2 回目 ・ 文法学習「自他動詞とアスペクト」 6 回目 3 分間スピーチ 2 回目 ・ 文法学習「自他動詞とアスペクト」 7 回目 3 分間スピーチ 2 回目 ・ 文法学習「自他動詞とアスペクト」 8 回目 3 分間スピーチ 2 回目 ・ 文法学習「自他動詞とアスペクト」 9 回目 3 分間スピーチ 3 回目 ・ 文法学習「受身・使役・受身使役・授受動詞」 10 回目 3 分間スピーチ 3 回目 ・ 文法学習「受身・使役・受身使役・授受動詞」 11 回目 3 分間スピーチ 3 回目 ・ 文法学習「受身・使役・受身使役・授受動詞」 12 回目 3 分間スピーチ 3 回目 ・ 文法学習「受身・使役・受身使役・授受動詞」 13 回目 3 分間スピーチ試験 ・ 文法学習「受身・使役・受身使役・授受動詞」 14 回目 3 分間スピーチ試験 ・ 文法学習 総まとめ 15 回目 文法筆記試験 スピーチ講評 後期 1 回目 試験返却とオリエンテーション（後期授業の内容説明）とプレゼンテーション（順番決め） 2 回目 レジュメの作成と話し合い 3 回目 レジュメの作成と話し合い 4 回目 レジュメの作成と話し合い 文法学習「のだ」 5 回目 レジュメの作成と話し合い 文法学習「のだ」 6 回目 プレゼンテーションの練習（ペア）と話し合い 7 回目 プレゼンテーションの練習（ペア）と話し合い 8 回目 プレゼンテーションの練習（ペア）と話し合い 9 回目 プレゼンテーションの練習（ペア）と話し合い 10 回目 プレゼンテーションの練習（ペア）と話し合い 11 回目 プレゼンテーションの試験 12 回目 プレゼンテーションの試験 13 回目 プレゼンテーションの試験 14 回目 プレゼンテーションの試験 文法総まとめ 15 回目 文法筆記試験 プレゼンテーションの試験講評 * スピーチは一人 3 回、プレゼンテーションは 1 回を予定しているが、受講数により変更する場合がある。						

て き す と き ん こ う し ょ と う テキスト・参考書等	プリントを配布する。配布する文法関係のプリントは主に以下のテキストを参考に作成している。 『セルフマスターシリーズ2 する・した・している』くろしお出版 『日本語文法演習 テンス・アスペクト』スリーエーネットワーク 『日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク 『談話・テキストレベルの文法知識の習得を目的とした教材の開発』文部科学省研究助成金奨励研究A 『日本語文法演習 待遇表現』スリーエーネットワーク A～Fの点数評価は大学の規定による。 点数評価の内訳は下記の通り。 評価内訳：出席10% 試験（筆記20・スピーチ20）40% 課題提出（文法10・スピーチ原稿10）20% 発表（発表15・スピーチ15）30% * 全15回の授業のうち10回以上出席し、期末試験（口頭試験と筆記試験両方をさす）を受験した場合にのみ評価を出す レベル：日本語能力試験 N1 程度 「日本語 Ia」との同時開講科目 * 欠席した日のプリントは翌週には配布しないので、友だちからかりて準備しておくこと。 * 無断で欠席した場合は、その翌週からプリントは用意しないので、必ず連絡をすること
--	--

科目名	基礎日本語Ⅲ1b・Ⅲ1n			科目番号	FJ55・FJ56	単位数	1
担当教員	長谷川 守寿	前期・後期	木曜日	2 時限	南大沢キャンパス		
キーワード	語彙・表現						
授業方針・テーマ	日本語の語彙力の強化						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	日本語の語彙力を強化する。言葉は、簡単な語と簡単な語を組み合わせ、複雑な意味を表すことができる。この授業では、知っているのでもう勉強する必要がないと思っている語でも、他の語と組み合わせることによって、複雑な意味を表せることを理解し、それらを適切に使用する能力を身につける。						
授業計画・内容	(前期) 1 回目 授業の説明 事前クイズ 2 回目 「聞く」 3 回目 「知る」 4 回目 「分ける」 5 回目 「すむ」 6 回目 「のる」 7 回目 「入る」 8 回目 中間試験、解説 9 回目 「書く」 10 回目 「返す」 11 回目 「切る」 12 回目 「さす」 13 回目 「とる」 14 回目 「もつ」 15 回目 試験・解説 (後期) 1 回目 授業の説明 事前クイズ 2 回目 「頭」 3 回目 「耳」 4 回目 「顔」 5 回目 「腰」 6 回目 「腹」 7 回目 「手」 8 回目 「身」 9 回目 中間試験、解説 10 回目 「良い」 11 回目 「重い」 12 回目 「厳しい」 13 回目 「激しい」 14 回目 「悪い」 15 回目 試験・解説						
テキスト・参考書等	テキスト：『コロケーションで増やす表現 vol.1』くろしお出版						
成績評価方法	出席 20% 中間・期末試験 各 40% * 全授業回数のうち 3 分の 2 以上出席し、試験・中間試験を受験した場合にのみ評価を出す。 * 30 分以上の遅刻・早退は欠席とする。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N1 程度						

科目名	基礎日本語Ⅲ1c・Ⅲ1d [日本語Ⅰc]			科目番号	FJ57・FJ58	単位数	1
担当教員	やま だ まゆみ 山 田 真 弓		前期・後期	月曜日	4 時限	南大沢キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class) 作文・論文 読解 文法 語彙・表現 レポート、論文を書くための必要な知識と技術を学ぶ。						
じゅぎょうほうしん てーま 授業 方針・テーマ							
しゅうとく ちしき 習得 できる 知識・ のうりよく じゅぎょう もくてき 能力 や 授業 の 目的・ とうたつもくひょう 到達 目標	・ レポート、論文を書くための基本的なルールを習得できる。 ・ レポート、論文の構成とその作り方を習得できる。 ・ 論理的な思考方法が身につく。 ・ 最終的に短い研究論文をまとめることができる。						
じゅぎょうけいかく ないよう 授業 計画・内容	前期 第1回 ガイダンス 第2回 レポートとは 第3回 レポート・論文でよく使われる文の形 第4回 レポート・論文でよく使われる語と表現 第5回 引用、注、図表、参考文献表 第6回 句読点、表記規則 第7回 レポートの実例 第8回 テーマの決め方 第9回 文献調査と管理 第10回 仮アウトライン 第11回 アウトラインの確定 第13回～第15回 レポートの作成の仕方 後期 第1回 論文とは 第2回 論文の構成 第3回 序論 第4回 本論 第5回 結論 第6回 テーマの決定 第7回 資料収集、仮アウトライン 第8回 アウトラインの確定 第9回 序論の作成 第10回～第12回 本論の作成 第13回 結論の作成 第14回 レジューメの作成の仕方 第15回 口頭発表の準備						
て き す と さんこうしょとう テキスト・参考書 等	二通信子、佐藤不二子『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』 スリーエーネットワーク 1512円 (1400円+税) ISBN : 9784883192571 参考資料 浜田麻里他『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版						
せいせきひょうかほうほう 成績 評価 方法	レポート、論文 80%、提出物 10%、口頭発表10% * 前期後期それぞれ10回以上出席し、レポート、論文を提出した場合にのみ評価を出す。 * 15 分以上の遅刻、早退は欠席とする。						
とっきじこう 特記 事項	レベル：日本語能力試験 N1 程度 「日本語Ⅰc」との同時開講科目 この科目は通年コースである。前期で基本を学び、後期は論文作成に入るため、通年もしくは前期のみの受講が望ましい。後期のみを希望する場合は担当教員に相談する。						

科目名	基礎 日本語 Ⅲ1d			科目 番号	FJ59	単位数	1
担当 教員	岡村 郁子		前期	火曜日	2 時限	南 大沢 キャンパス	
キーワード		総合的科目 (comprehensive class)					
授業 方針・テーマ		本授業では、N 1 の日本語上級者を対象に、現代日本社会の諸事情をデータや読解教材を通して学び、日本文化や社会への深い理解を得ることを目的とします。 併せて、各自が選んだトピックについて、個人もしくはグループによる情報収集、アンケートやインタビュー調査を行い、結果について考察し、発表および討論を行うことで、総合的な日本語運用力の獲得を目指します。					
習得 できる 知識・能力 や 授業 の 目的・到達 目標		1. 日本語による調査のための情報収集や分析の方法を学び、結果を適切に処理する。 2. 調査を通じて、日本人との実践的なコミュニケーションを行う。 3. 日本語によるプレゼンテーションのための資料作成や発表に必要な日本語表現を学ぶ。 4. プレゼンテーションに対する日本語による適切な評価を行う。					
授業 計画・内容		第 1 回 ガイダンス 第 2 回 調査・発表の手引き、グループ決め、スケジュール設定 第 3 回 「食文化」 #1 第 4 回 " #2 第 5 回 「仕事」 #1 第 6 回 " #2 第 7 回 「生活習慣と宗教」 #1 第 8 回 " #2 第 9 回 「リサイクル」 #1 第 10 回 " #2 第 11 回 「ジェンダー」 #1 第 12 回 " #2 第 13 回 発表準備 第 14 回 プレゼンテーション および 評価 #1 第 15 回 プレゼンテーション および 評価 #2					
テキスト・参考書 等		・トピックによる日本語総合演習—テーマ探しから発表へ 上級/上級資料編 安藤節子他著、専修大学国際教育センター監修 (2010/2011) スリーエーネットワーク ・その他、トピックに関連する文献を配布します。					
成績 評価 方法		出席・リーディング課題・クラス活動への参加 5 0 % プレゼンテーション 3 0 % レポート課題 2 0 %					
特記 事項		レベル：日本語能力試験 N1 程度 取り上げるトピックは、授業参加者のレベルや希望によって調整します。 * 前年度後期開講の「基礎日本語Ⅲ 1 u」を履修済みであることが望ましいが、履修していない方も参加を歓迎します。					

科目名 か も く め い		基礎 日本語 IIIp き そ に ほ ん ご			科目 番号 か も く ぼ ん ご う	FJ60	単位数 たん い す う	1
担当 教員 たん と う き ょ う い ん	岡村 郁子 おかむら い く こ		後期	火曜日	2 時限 じ げ ん	南 大沢 キャンパス みなみおおさわ		
キーワード		総合的科目 (comprehensive class)						
授業 方針・テーマ じゆぎょうほうしん		本授業では、主としてN1の日本語上級者を対象に、現代日本社会の諸事情についての情報収集、プレゼンテーション、ディスカッションを通して、日本語の運用力を高め、日本文化や社会への深い理解を得ることを目指します。選んだテーマに基づいて個人もしくはグループによる調査を実施、結果について考察し、発表および討論を行う、プロジェクト形式の授業です。						
習得 できる 知識・ 能力 や 授業 の 目的・ 到達 目標 しゅうとく ちしき のうりよく じゆぎょう もくてき とうたつもくひょう		1. 日本語による調査のための情報収集や分析の方法を学び、結果を適切に処理する。 2. 調査を通じて、日本人との実践的なコミュニケーションを行う。 3. 日本語によるプレゼンテーションのための資料作成や発表に必要な日本語表現を学ぶ。 4. プレゼンテーションに対する日本語による適切な評価を行う。						
授業 計画・内容 じゆぎょうけいかく ないよう		第1回 ガイダンス 第2回 調査・発表の手引き、グループ決め、スケジュール設定 第3回 「教育」 #1 第4回 " #2 第5回 「言葉」 #1 第6回 " #2 第7回 「コミュニケーション」 #1 第8回 " #2 第9回 「昔話」 #1 第10回 " #2 第11回 「住宅」 #1 第12回 " #2 第13回 発表準備 第14回 プレゼンテーション および 評価 #1 第15回 プレゼンテーション および 評価 #2						
テキスト・参考書 等 て き す と さんこうしよとう		・トピックによる日本語総合演習—テーマ探しから発表へ 中級後期 安藤節子他著、専修大学国際教育センター監修(2001) スリーエーネットワーク ・日本語ドキドキ体験交流活動集 (2008) 国際交流基金関西国際センター (編集) 凡人舎 ・その他、トピックに関連する文献を配布します。						
成績 評価 方法 せいせきひょうかほうほう		出席・リーディング課題・クラス活動への参加 50% プレゼンテーション 30% レポート課題 20%						
特記 事項 とっきじこう		レベル：日本語能力試験 N1 程度 (N2 も可) 取り上げるトピックは、授業参加者のレベルや希望によって調整します。						

科目名	基礎日本語Ⅲ1e・Ⅲ1q			科目番号	FJ61・FJ62		1
担当教員	黒田 史彦	前期・後期	月曜日	5 時限	南大沢キャンパス		
キーワード 授業方針・テーマ	文法 語彙・表現 ・日本語文法に強い関心を持っている学生のための上級～超級クラスです。 ・日本語教育を専攻している実習生（学部生・大学院生）とのグループ活動に多くの時間を使います。 ・グループ活動では、教科書の「問題」に取り組み、相談しながら解決を図ります。 ・疑問や質問がある場合は、実習生に質問したり、グループやクラスで一緒に話し合ったりすることができます。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	・日本語の文法や言葉の使い方に関する新しい知識を獲得したり、既習の知識を整理したりします。 ・グループ活動を通して、主体的に考え、協働的に学び合う姿勢を養います。						
授業計画・内容	[第1回] ガイダンス、第1章：あいまいな表現 [第2回] 第2章：格 [第3回] 第3章：受動文と使役文 [第4回] 第4章：自動詞と他動詞 [第5回] 第5章：連体修飾 [第6回] 第6章：連用修飾 [第7回] 第7章：テンス・アスペクト [第8回] 第8章：受益・移動の表現 [第9回] 第9章：ハとガ [第10回] 第11章：とりたて（第10章は扱わない） [第11回] 第12章：モダリティ [第12回] 第13章：語順 [第13回] 第14章：文の構造 [第14回] 期末試験の準備 [第15回] 期末試験 ※受講者数などの状況により、授業計画は変更することがある。						
テキスト・参考書等	『ワークブック 日本文法』 天野みどり他（著） おうふう ￥1,800＋税 ※教科書の入手が困難なため、変更する可能性があります。その場合は、授業計画も変更します。						
成績評価方法	グループ活動への貢献度 50% 授業参加度 10% 出席状況 30% 期末試験 10%						
特記事項	・レベル：日本語能力試験 N1 程度 ・この授業では、グループによる話し合いへの積極的な参加が不可欠です。グループ活動が向いていない人には、受講をお勧めできません。 ・4回以上欠席した場合、早退・遅刻が多い場合、そして、期末試験を欠席した場合には、単位は出ません。						

科目名	基礎日本語Ⅲ1f・Ⅲ1r			科目番号	FJ63・FJ64	単位数	1
担当教員	田中 節子	前期・後期	月曜日	4 時限	日野キャンパス		
キーワード	会話 聴解 (ニュースとドラマの動画)						
授業方針・テーマ	テレビのニュースやドラマなど幅広い場面で使われる日本語が理解できる。日本の今がわかるようになる。						
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	NHK のニュース番組「クローズアップ現代」と「おはよう日本」を取り上げ、日本で話題になっているニュースを聞き取りながら、討論する。 テレビドラマの 1 場面を取り上げて、場面による日本人の会話のスタイルを理解しながら、会話の練習をする。 聞き取りをやさしくするためにスクリプトを用意する。						
授業計画・内容	1 回、4 回、7 回、1 0 回、1 3 回 NHK「クローズアップ現代」 2 回、5 回、8 回、1 1 回、1 4 回 NHK「おはよう日本」 3 回、6 回、9 回、1 2 回 テレビドラマ 1 5 回 期末試験						
テキスト・参考書等	テレビの動画						
成績評価方法	平常点 6 0 %、課題提出 2 0 %、期末試験の結果 2 0 %による総合評価。 授業を 4 回欠席した場合、単位取得不可とする。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N 1 程度。 欠席する場合は、担当教員に連絡すること。						

科目名 かもくめい	基礎 日本語 Ⅲ1g・Ⅲ1s きそ にほんご		科目番号 かもくばんごう	FJ65・FJ66	単位数 たんいすう	1
担当教員 たんとうきょういん	やまだ まゆみ 山田 真弓	ぜんき こうき 前期・後期	もくようび 木曜日	2 じげん 2 時限	あらかわ きゃんぱす 荒川 キャンパス	
キーワード じゅぎょうほうしん てーま 授業 方針・テーマ しゅうとく ちしき 習得 できる 知識・ のうりよく じゅぎょう もくてき 能力 や 授業 の 目的・ とうたつもくひょう 到達 目標 じゅぎょうけいかく ないよう 授業 計画・内容	総合的科目 (comprehensive class) 作文・論文 読解 語彙・表現 漢字 ・自身の研究テーマに沿った論文を書くために必要な知識と技術を学ぶ。 ・様々なメディアを通して社会問題や日本文化の資料を読み解き、意見を述べる。 ・ レポート、論文を書くために必要な論理の組み立て方や文章の書き方を習得できる。 ・ インターネットなどのメディアの情報を利用し、より高度な読解力が獲得できる。 [前期] 1. レポートの書き方 第1回 シラバス確認、ガイダンス 第6回～第8回 レポートの実例 第2回 レポートとは、テーマの選び方 第9回 構成 第3回 論文でよく使われる文の形 第10回 仮アウトライン 第4回 論文でよく使われる語と表現 第11回～15回 レポートを書く 第5回 引用、注、図表、参考文献表 2. 速読とディスカッション [後期] 1. 論文の書き方 第1回 論文とは、論文の構成 第10回 論文のアウトライン 第2回～第3回 序論 第11回 論文の実例 第4回～第5回 本論 第12回～第13回 論文を書く練習 第6回～第7回 結論 第14回 レジメの作成のし方 第8回 各種の記号の使い方と引用 第15回 口頭発表 第9回 事前調査 2. 速読、ディスカッション 『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子、佐藤不二子 スリーエーネットワーク 1512 円 (1400 円+税) ISBN : 9784883192571 その他プリントを配布する。 参考書 『大学生と留学生のための論文ワークブック』 浜田麻里他 くろしお出版 平常点 (出席、授業参加、提出物) 20% レポート・論文 40% 口頭発表 40% レベル：日本語能力試験 N1 程度					
テキスト・参考書等 てきすと さんこうしょとう						
成績評価方法 せいせきひょうかほうほう						
特記事項 とっきじこう						

科目名 か も く め い		基礎 日本語 Ⅲ1+a・Ⅲ1+m き そ に ほ ん ご		科目 番号 か も く ぼ ん ご う		FJ67・FJ68		単位数 たん い す う		1	
担任 教員 たん と う だ ん き ょ う い ん		う め お か 梅岡 巳 香		ぜ ん き こ う き 前期・後期		も く よ う び 木曜日		2 時 限 じ げ ん		みなみおおさわ 南 大沢 キャンパス	
授業 方針・テーマ じ ゅ う ほう し ん				「読む」「話す」「書く」のそれぞれの技能を向上させるために、以下のような活動を行う。 ・「読む」朝日新聞等のコラム（「天声人語」「編集手帳」など）を読み、内容を理解する。 ・「書く」宿題として出された朝日新聞等のコラム（「天声人語」「編集手帳」など）を要約し、要約についてどのような要約や表現がよいかを授業で検討する。漢字と語彙を覚えるため、クイズを行う。 ＊読みとその要約は。翌週の月曜日までに教師あてにメール（以下）で要約を送ること。 ・「話す」読んできた天声人語について、決められた箇所の解説を行う。							
習得 できる 知識・ 能力 や 授業 の 目的・ 到達 目標 し ゅ う と く ち し き の う り よ く じ ゅ う も く て き た う た つ も く ひ ょ う				①文化背景を理解しながら、読むことができるようになる ②文法や語彙に留意し、筆者の意図が汲み取れるようになる ③理解した内容を自分のことばと文法力を駆使して第三者に伝えられるようになる ④ニュースを細部まで聞き取れるようになる							
授業 計画・内容 じ ゅ う け い かく ない ょ う				1 回目 オリエンテーション 2 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 3 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 4 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 5 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 6 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 7 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 8 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 9 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 10 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 11 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 12 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 13 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 14 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約 15 回目 漢字語彙クイズ 天声人語の読みと要約							
テキスト・参考書 等 て き す と さんこうし ょ う				特に決まったテキストはない。必要に応じてプリントを配布する。							
成績 評価 方法 せいせきひょうかほうほう				A～Fの点数評価は大学の規定による（首都大、都立大はそれぞれ異なる）が、点数評価の内訳は下記の通り。 出席10%クイズ10% 課題提出50%、発表20% 最終試験10% ・全 15 回の授業のうち 10 回以上出席し、期末試験を受験した場合にのみ評価を出す。							
特記 事項 とっきじこう				レベル：日本語能力試験 N1+程度 前期「日本語Ⅱa」、後期「日本語Ⅱb」との同時開講科目 ・休んだ日のプリントは翌週には準備しないので、友だちからかりて準備しておくこと。 ・無断で欠席した場合は、その翌週からプリントは用意しないので、必ず連絡をすること							

科目名	基礎日本語Ⅲ1+n [日本語Ⅱc]			科目番号	FJ69	単位数	1
担当教員	奥野 由紀子		後期	水曜日	2 時限	南大沢キャンパス	
キーワード 授業方針・テーマ	総合的科目 (comprehensive class) 内容 (Content), 言語 (Communication), 思考 (Cognition), 協学 (Community), という 4 つの概念を有機的に結び付けることにより, 高度な日本語力と多角的思考を身につける。 内容として「PEACE」を扱う。「PEACE」とは「P : Poverty 貧困からの脱却」「E : Education 教育」「A : Assistance in need 自立のための援助」「C : Cooperation & Communication 協働と対話」「E : Environment 環境」という 5 つの内容を含むものである。これらの内容は, 大学卒業後, これから世界とつながる社会へ出て行く若者が人として考えるべき問題, また多角的な視点から思考を深めることができるテーマである。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	世界でおきている仕組みと私たちの関わりについて知り、説明し、考え、発信する日本語力を養うこと。 ① トピックに関する書籍を読んだり、視聴覚教材を視聴したりして現状を知る。 ② 現状を簡潔に説明する（書く＋話す）。 ③ ディスカッションポイントを見つけて、他の学生と議論する。 ④ 身近なところから社会を変える方法を考える。						
授業計画・内容	1 授業ガイダンス・自己紹介 プロローグ「世界がもし 100 人の村だったら」 2 世界の貧しさの ためにできること ガーナ 3 シエラレオネポスター作製 4 シエラレオネ ポスター発表 5 ビデオ・『世界で一番いのちの短い国 3』第 1 章 6 『世界で一番いのちの短い国 4』分担読み 7 分担読み・発表 8 発表導入 9 発表準備 10 発表 1 11 発表 2 12 発表 3 13 発表 4 14 まとめ と レポート						
テキスト・参考書等	テキスト：『世界で一番命の短い国』 小学館 669 円（文庫版） 参考図書：日本放送出版協会（2008）『NHK 地球データマップ 世界の今から未来を考える』, NHK 出版。 参考 DVD：『フジテレビ 世界がもし 100 人の村だったら DVD Disk 2』（2012）ポニーキャニオン。						
成績評価方法	平常点 60 %（出席・クラス参加度・提出物・クイズ）、その他 40 %（プレゼンテーション・最終課題）で総合的に判断します。7 割以下の欠席（遅刻も考慮する）には単位を与えません。 * 自ら学習する力を伸ばすために、学習の記録を保存して、振り返ります。授業の配布プリントや課題、発表準備過程などを全てファイルし（ポートフォリオ作成）、中間と期末に提出します（※クリアファイル（30 ポケット程度）を 1 冊用意）。						
特記事項	レベル：日本語能力試験 N1 程度						

科目名	基礎日本語Ⅲ1+0 [日本語Ⅱd]			科目番号	FJ70	単位数	1
担当教員	やま だ ま ゆ み 山 田 真 弓		後期	水曜日	4 時限	南大沢キャンパス	
キーワード	総合的科目 (comprehensive class) 読解 聴解 語彙・表現 (日本事情)						
じゅぎょうほうしん てーま 授業 方針・テーマ	・ インターネットの動画ニュース、特集等を視聴し、ディスカッションを行う。取り上げるテーマはさまざまに日本の社会問題や文化など多岐にわたる。毎回、視聴したものについて、自分の考えや意見をまとめて提出する。						
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	・ 日本語上級レベルの聴解の訓練ができる。 ・ 内容を理解し、自分の考えや意見をまとめる能力が習得できる。						
じゅぎょうけいかく ないよう 授業 計画・内容	NHKで放映されたプロジェクト2030を中心に動画を視聴する。 ネット配信されている動画は、できるだけ最新のものを使用するため、 下記テーマと異なる場合がある。 第1回 ガイダンス、動画ニュース (1) 第2回 動画ニュース (2) 第3回 ネット社会で感じる”孤立” 第4回 就職難の裏に”変わる学生” 第6回 大学中退を食い止めろ 第7回 動画ニュース (3) 第8回 動画ニュース (4) 第9回 日本の慣習 (1) 第10回 日本の慣習 (2) 第11回 特集 (4) 第12回 特集 (5) 第13回 今年度のヒット商品 (1) 第14回 今年度のヒット商品 (2) 第15回 まとめ、授業評価						
て き す と さんこうしょとう テキスト・参考書等	テキストは使用しない。授業内で提示する。						
せいせきひょうかほうほう 成績 評価 方法	発表 40% 提出物 30% 平常点 (出席、ディスカッション等) 30% * 10回以上出席し、発表した場合にのみ評価を出す。 * 15 分以上の遅刻、早退は欠席とする。						
とっきじこう 特記 事項	レベル：日本語能力試験 N1+程度 「日本語Ⅱd」との同時開講						

2.2 Syllabi in English

(For Japanese Language Proficiency Test Level N5 - N4)

Japanese Language Courses A.Y.2016

1st Semester(34 courses)

Course Code	Course Title	Period	Lecturer	JLPT Level	Campus	Page
FJ01	Fundamental Japanese I 5a	Tue2	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	91
FJ03	Fundamental Japanese I 5b	Tue3	S. Inoue	N5	Minami-Osawa	91
FJ05	Fundamental Japanese I 5c	Fri2	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	91
FJ07	Fundamental Japanese I 5d	Fri3	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	92
FJ09	Fundamental Japanese I 5e	Wed5	S. Inoue	N5	Minami-Osawa	93
FJ11	Fundamental Japanese I 5f	Mon5	R. Ohki	N5	Minami-Osawa	94
FJ13	Fundamental Japanese I 5g	Wed4	S. Tanaka	N5	Hino	95
FJ15	Fundamental Japanese I 5h	Wed5	S. Tanaka	N5	Hino	95
FJ17	Fundamental Japanese I 5i	Thu3	M. Yamada	N5	Arakawa	96
FJ19	Fundamental Japanese I 4a	Mon2	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ21	Fundamental Japanese I 4b	Wed1	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ23	Fundamental Japanese I 4c	Wed2	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ25	Fundamental Japanese I 4d	Mon3	M. Yamada	N4	Minami-Osawa	98
FJ27	Fundamental Japanese I 4e	Wed3	M. Hasegawa	N4	Minami-Osawa	99
FJ29	Fundamental Japanese I 4f	Tue5	S. Inoue	N4	Minami-Osawa	100
FJ31	Fundamental Japanese I 4g	Thu4	M. Yamada	N4	Arakawa	101
FJ33	Fundamental Japanese II 3a	Tue4	S. Inoue	N3	Minami-Osawa	
FJ35	Fundamental Japanese II 3b	Mon4	R. Ohki	N3	Minami-Osawa	
FJ37	Fundamental Japanese II 3c	Fri3	M. Yamada	N3	Minami-Osawa	
FJ39	Fundamental Japanese II 3d	Wed4	S. Inoue	N3	Minami-Osawa	
FJ41	Fundamental Japanese II 3e	Mon5	Y. Okuno	N3	Minami-Osawa	
FJ43	Fundamental Japanese II 2a	Wed3	F. Kuroda	N2	Minami-Osawa	
FJ45	Fundamental Japanese II 2b	Wed2	S. Tanaka	N2	Minami-Osawa	
FJ47	Fundamental Japanese II 2c	Fri4	M. Yamada	N2	Minami-Osawa	
FJ49	Fundamental Japanese II 2d	Tue1	C. Watanabe	N2	Minami-Osawa	
FJ51	Fundamental Japanese II 2e	Mon3	F. Kuroda	N2	Minami-Osawa	
FJ53	Fundamental Japanese III 1a	Thu3	M. Umeoka	N1	Minami-Osawa	
FJ55	Fundamental Japanese III 1b	Thu2	M. Hasegawa	N1	Minami-Osawa	
FJ57	Fundamental Japanese III 1c	Mon4	M. Yamada	N1	Minami-Osawa	
FJ59	Fundamental Japanese III 1d	Tue2	I. Okamura	N1	Minami-Osawa	
FJ61	Fundamental Japanese III 1e	Mon5	F. Kuroda	N1	Minami-Osawa	
FJ63	Fundamental Japanese III 1f	Mon4	S. Tanaka	N1	Hino	
FJ65	Fundamental Japanese III 1g	Thu2	M. Yamada	N1	Arakawa	
FJ67	Fundamental Japanese III 1+a	Thu2	M. Umeoka	N1+	Minami-Osawa	

*JLPT(The Japanese-Language Proficiency Test)

N5	One is able to read and understand typical expressions and sentences written in hiragana, katakana, and basic kanji. One is also able to listen and comprehend conversations about topics regularly encountered in daily life and classroom situations, and is able to pick up and understand necessary information from short conversations spoken slowly.
N4	One is able to read and understand passages on familiar daily topics written in basic vocabulary and kanji. One is also able to listen and comprehend conversations encountered in daily life and generally follow their contents, provided that they are spoken slowly.
N3	One is able to read and understand written materials with specific contents concerning everyday topics. One is also able to grasp summary information such as newspaper headlines. In addition, one is able to listen and comprehend coherent conversations in everyday situations, spoken at near-natural speed, and is generally able to follow their contents as well as grasp the relationships among the people involved. Furthermore, one is also able to read slightly difficult writings observed in everyday situations and understand the main points of the content if some alternative phrases are available to aid one's understanding.
N2	One is able to read materials written clearly on a variety of topics, such as articles and commentaries in newspapers and magazines as well as simple critiques, and comprehend their contents. One is also able to read written materials on general topics and follow their narratives as well as understand the intent of the writers. And one is able to comprehend orally presented materials such as coherent conversations and news reports, spoken at nearly natural speed in everyday situations as well as in a variety of settings, and is able to follow their ideas and comprehend their contents. One is also able to understand the relationships among the people involved and the essential points of the presented materials.
N1	One is able to read writings with logical complexity and/or abstract writings on a variety of topics, such as newspaper editorials and critiques, and comprehend both their structures and contents. One is also able to read written materials with profound contents on various topics and follow their narratives as well as understand the intent of the writers comprehensively. One is able to comprehend orally presented materials such as coherent conversations, news reports, and lectures, spoken at natural speed in a broad variety of settings, and is able to follow their ideas and comprehend their contents comprehensively. One is also able to understand the details of the presented materials such as the relationships among the people involved, the logical structures, and the essential points.

Linguistic competence required for the JLPT
<http://www.jlpt.jp/e/about/levelsummary.html>

2nd Semester(36 courses)

Course Code	Course Title	Period	Lecturer	JLPT Level	Campus	Page
FJ02	Fundamental Japanese I 5m	Tue2	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	91
FJ04	Fundamental Japanese I 5n	Tue3	S. Inoue	N5	Minami-Osawa	91
FJ06	Fundamental Japanese I 5o	Fri2	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	91
FJ08	Fundamental Japanese I 5p	Fri3	C. Watanabe	N5	Minami-Osawa	92
FJ10	Fundamental Japanese I 5q	Wed5	S. Inoue	N5	Minami-Osawa	93
FJ12	Fundamental Japanese I 5r	Mon5	R. Ohki	N5	Minami-Osawa	94
FJ14	Fundamental Japanese I 5s	Wed4	S. Tanaka	N5	Hino	95
FJ16	Fundamental Japanese I 5t	Wed5	S. Tanaka	N5	Hino	95
FJ18	Fundamental Japanese I 5u	Thu3	M. Yamada	N5	Arakawa	96
FJ20	Fundamental Japanese I 4m	Mon2	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ22	Fundamental Japanese I 4n	Wed1	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ24	Fundamental Japanese I 4o	Wed2	C. Watanabe	N4	Minami-Osawa	97
FJ26	Fundamental Japanese I 4p	Mon3	M. Yamada	N4	Minami-Osawa	98
FJ28	Fundamental Japanese I 4q	Wed3	M. Hasegawa	N4	Minami-Osawa	99
FJ30	Fundamental Japanese I 4r	Tue5	S. Inoue	N4	Minami-Osawa	100
FJ32	Fundamental Japanese I 4s	Thu4	M. Yamada	N4	Arakawa	101
FJ34	Fundamental Japanese II 3m	Tue4	S. Inoue	N3	Minami-Osawa	
FJ36	Fundamental Japanese II 3n	Mon4	R. Ohki	N3	Minami-Osawa	
FJ38	Fundamental Japanese II 3o	Fri3	M. Yamada	N3	Minami-Osawa	
FJ40	Fundamental Japanese II 3p	Wed4	S. Inoue	N3	Minami-Osawa	
FJ42	Fundamental Japanese II 3q	Mon5	Y. Okuno	N3	Minami-Osawa	
FJ44	Fundamental Japanese II 2m	Wed3	F. Kuroda	N2	Minami-Osawa	
FJ46	Fundamental Japanese II 2n	Wed2	S. Tanaka	N2	Minami-Osawa	
FJ48	Fundamental Japanese II 2o	Fri4	M. Yamada	N2	Minami-Osawa	
FJ50	Fundamental Japanese II 2p	Tue1	C. Watanabe	N2	Minami-Osawa	
FJ52	Fundamental Japanese II 2q	Mon3	F. Kuroda	N2	Minami-Osawa	
FJ54	Fundamental Japanese III 1m	Thu3	M. Umeoka	N1	Minami-Osawa	
FJ56	Fundamental Japanese III 1n	Thu2	M. Hasegawa	N1	Minami-Osawa	
FJ58	Fundamental Japanese III 1o	Mon4	M. Yamada	N1	Minami-Osawa	
FJ60	Fundamental Japanese III 1p	Tue2	I. Okamura	N1	Minami-Osawa	
FJ62	Fundamental Japanese III 1q	Mon5	F. Kuroda	N1	Minami-Osawa	
FJ64	Fundamental Japanese III 1r	Mon4	S. Tanaka	N1	Hino	
FJ66	Fundamental Japanese III 1s	Thu2	M. Yamada	N1	Arakawa	
FJ68	Fundamental Japanese III 1+m	Thu2	M. Umeoka	N1+	Minami-Osawa	
FJ69	Fundamental Japanese III 1+n	Wed2	Y. Okuno	N1+	Minami-Osawa	
FJ70	Fundamental Japanese III 1+o	Wed4	M. Yamada	N1+	Minami-Osawa	

Course Title	Fundamental Japanese I 5a・I 5m (Tuesday Period 2) I 5b・I 5n (Tuesday Period 3) I 5c・I 5o (Friday Period 2)			Course Code	FJ01・FJ02 FJ03・FJ04 FJ05・FJ06	Credit	1
Lecturer	INOUE Shōko WATANABE Chikako	Semester 1 & 2	Tuesday Friday	Period 2 & 3 Period 2	Minami-Osawa Campus		
Key Word		Comprehensive Course					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		① To learn hiragana, katakana, vocabulary at the level of JLPT/N5 and kanji ② To be able to understand and speak simple Japanese used in everyday life ③ To learn the background of Japanese language and deepen understanding of Japan.					
Schedule and contents of course		Three courses of the Fundamental Japanese I 5a・5m (Tuesday Period 2), 5b・5n (Tuesday Period 3) and 5c・5o (Friday Period 2) will be consecutively conducted. Week 1 – 8: UNIT 1 – 12 Acquisition of hiragana, katakana and speaking skills for self-introduction, shopping and simple conversation about daily life Week 9: Midterm exam Week 9 – 14: UNIT 13 – 26 Acquisition of skills to express what you are doing now, your impression, hope, etc. Week 15: Final exam Detailed class schedule will be handed out at the beginning of the course.					
Textbook & Supplementary materials		“TMU mic-J N5” (TMU original textbook), provided free of charge Handouts will be distributed when necessary. “Japanese for Busy People Kana Workbook for the Revised 3 rd Edition” by Kodansha International Ltd. Purchase yourself at TMU Co-op bookstore.					
Performance Evaluation		Comprehensive evaluation of class participation, assignments and results of midterm and final examinations Four absences disqualifies the student from being awarded the credit.					
Remarks		Students are required to take three courses of Period 2 and Period 3 on Tuesday and Period 2 on Friday consecutively (because of continuity in the content of each course). The Fundamental Japanese I 5d・5p in Period 3 on Friday provides reviews and extended study of these courses, it is therefore recommended to take this course in conjunction with the aforesaid courses for further improvement of language skills. Level: Introductory; JLPT/N5 level (and equivalent) If you are absent from class, please let the instructor know in advance by any means possible.					

Course Title		Fundamental Japanese I5d・I5p		Course Code	FJ07・FJ08	Credit	1
Lecturer	WATANABE Chikako		Semester 1 & 2	Friday	Period 3	Minami-Osawa Campus	
Key Word Teaching Policy Theme		Comprehensive Course This course provides reviews and practical exercises corresponding to the three consecutive courses of the Fundamental Japanese I 5a・5m (Period 2, Tuesday), 5b・5n (Period 3, Tuesday) and 5c・5o (Period 2, Friday).					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		The objective of this course is: ③ To learn hiragana, katakana, and vocabulary at the level of JLPT/N5 ④ To be able to understand and speak simple Japanese used in everyday life ③ To learn the background of Japanese language for deepening understanding of Japan.					
Schedule and contents of course		Week 1－8 :Reviews and practical exercises corresponding to Unit 1-12 Week 9 :Midterm exam Week 9－14 :Reviews and practical exercises corresponding to Unit 13-26 Week 15 :Final exam Detailed class schedule will be distributed at the beginning of the course.					
Textbook & Supplementary Materials		“TMU mic-J N5 “ (TMU original textbook) provided free of charge “Japanese for Busy People Kana Workbook for the Revised 3rd Edition” (Kodansha International Ltd.) Please purchase yourself at TMU Co-op bookstore. Handouts will be distributed as necessary.					
Performance Evaluation		Comprehensive evaluation of class participation and results of final examination Being absent from class 4 times will result in no credit awarded.					
Remarks		① Students taking the Fundamental Japanese I 5a・5m (Period 2, Tuesday), 5b・5n (Period 3, Tuesday) and 5c・5o (Period 2, Friday) are encouraged to take this course as well for improvement of practical skills if at all possible. ② Students having prior Japanese language learning experience whose level are recognized as equivalent to JLPT/ N5 do not need to take the courses mentioned in ①, that means they can take this course alone. ・ Level: JLPT/N5 level (and equivalent) ・When you are absent from class, please let the instructor know in advance by any means possible.					

Course Title		Fundamental Japanese I5e・I5q		Course Code	FJ09・FJ10	Credit	1
Lecturer	INOUE Shōko		Semester 1&2	Wednesday	Period 5	Minami-Osawa Campus	
Key Word		Comprehensive Course					
		Speaking: vocabulary, expressions					
Teaching Policy Theme							
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		The objective of the course is to: ① be able to understand and speak Japanese necessary in everyday life ② understand Japanese culture and learn the basics of Japanese language ③ learn the basic pronunciation of Japanese language					
Schedule and contents of course		1 Self-introduction & Japanese letters 2 Making explanations and questions 3 Asking about location 4 Shopping 5 Ordering food and drink 6 Vocabulary – adjectives and verbs 7 Getting permission and giving a reason 8 Asking for a favor 9 Trains and buses 10 Talking about plans and what to do 11 Giving an impression 12 Eating food 13 Making a small talk 14 Inviting someone to a party, a movie, and so on 15 Exam and making a speech					
Textbook and Supplementary materials		Textbook: “NIHONGO FUN & EASY” (by Yukiko Ogata, ASK Publishing, 1,900 yen) (Please purchase yourself at TMU Co-Op bookstore.) Supplementary: 「1日10分の発音練習」 (by Toshiyuki Kōno & Others, Kuroshio Publishing, 2,000 yen), and others.					
Performance Evaluation		Four absences disqualifies the student from taking an exam and being awarded the credit. Missing 20 or more of a class period 3 times constitutes one absence. Class assignments (including quizzes, 40%), exam (50%), and class attendance (10%)					
Remarks		The content of each class is subject to change in accordance with class progress.					

Course Title		Fundamental Japanese I5f・I5r		Course Code	FJ11・FJ12	Credit	1
Lecturer	OHKI Rie		Semester 1& 2	Monday	Period 5	Minami-Osawa Campus	
Key Word							
Teaching Policy Theme		This course is designed for beginners of Japanese to develop applicable skills by the acquisition of speaking skills by using basic vocabulary and sentence patterns, listening skills regardless of the vocabulary not yet studied. Pace of the class is almost same with mic-J classes, however, the class may include some sentence patterns you have not studied yet. Being able to write hiragana and katakana is pre-requisite.					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		Students will be able to: ・ ask questions about interesting things ・ Speak formally/informally depending on the occasion ・ Use simple Japanese expression containing set phrases used in various situations with correct intonation ・ contextually grasp what someone says even if it contains unfamiliar words					
Schedule and contents of course		Class 1 :Course guidance and warming-up Classes 2-13 :Dictation quizzes Introduction of basic expression patterns Leaning lessons through sample dialogues, sample question patterns Roll playing exercise Reading comprehension exercise Class 14 :Review Class 15 :Final exam (Mid-term exam may be given in Class 8.) Conversation topics covered in the classes (e.g.):What you like and what you like to do, family, every day events and travel Expression patterns covered in the classes: Polite expressions for requesting, declination and breaking the ice, and more					
Textbooks & Supplementary materials		Excerpts from 『日本語で行こう』『みんなの日本語』 Supplementary: Materials developed by instructors					
Performance Evaluation		Comprehensive evaluation of attendance, results of quizzes, assignments and examinations, active participation in the class					
Remarks		Level: JLPT/N5 ・ When you absent form class, let the instructor know by e-mail in advance ・ A little quiz will be given at the beginning of classes. Tardy students will not be able to take the quiz. ・ Four absences disqualifies the student from passing the course (Missing 20 minutes or more of a class period 3 times constitutes one absence.) ・ Missing any exam (including the mid-term if it is given) results in a failure.					

Course Title		Fundamental Japanese I5g・I 5s I5h・I 5t			Course Code	FJ13・FJ14 FJ15・FJ16	Credit	1
Lecturer	TANAKA Setsuko		Semester 1&2	Wednesday	Period 4&5	Hino Campus		
Key Word		Speaking, listening comprehension and sounds of Japanese (Survival Japanese)						
Teaching Policy Theme		The objective of this course is to learn “Survival Japanese” applicable to everyday situations. The pace of the class is not so fast.						
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		To be able to apply speaking and listening skills required in everyday situations. Hiragana and Katakana are covered in the course, but not so much focused on.						
Schedule and contents of course		1. Greetings Useful Expressions Hiragana 2. Hiragana First Meeting 3. Hiragana Taking a Taxi 4. Hiragana Getting Fast Food 5. Hiragana Shopping 6. Katakana Asking about the Time 7. Katakana Taking Public Transportation 8. Katakana Talking about Schedules and Routines 1 9. Katakana Talking about Schedules and Routines 2 10. Katakana Talking about Schedules and Routines 3 11. Socializing 1 12. Socializing 2 13. Talking about Leisure Time 1 14. Talking about Leisure Time 2 15. Final exam						
Textbook & Supplementary Materials		“NIHONGO BreakThrough” 「かな入門」						
Performance Evaluation		Comprehensive evaluation of attendance, participation, assignments and final exam. Four absences disqualifies the student from being awarded the credit.						
Remarks		Level: JLPT/N5 (and equivalent) The classes in Period 4 and Period 5 are given in a row on Wednesday. When you are absent from class, let the instructor know in advance. Purchase yourself “NIHONGO BreakThrough”.						

Course Title		Fundamental Japanese I5i・I5u		Course Code	FJ17・FJ18	Credit	1
Lecturer	YAMADA Mayumi		Semester 1&2	Thursday	Period 3	Arakawa Campus	
Key Word		Comprehensive Course Speaking listening Grammar Vocabulary & Expressions Pronunciation					
Teaching Policy Theme		The first-half of the basic Japanese. Students learn fundamental Japanese needed for everyday life. Each unit sets an objective of study “what students will master.” Upon completion of the each unit, the instructor will make sure if students understand correctly. This course also covers the knowledge needed for daily life and Japanese culture. In this course, students will learn reading and writing of hiragana and katakana.					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		Each class sets an objective. ・ To be able to acquire the basic Japanese ability required for living in Japan ・ To be able to develop communication ability minimum required for campus life ・ To be able to understand Japanese culture and things Japanese such as lving, customs and manners. ・ To be able to read hiragana and katakana					
Schedule and contents of course		Semester 1 Students will be able to: 1. U1 Exchange greetings and to make self-introduction 2. U2 Ask the names of things 3. U3 Ask about location 4. U3 Ask which floor to go 5. U4 Ask what time it is 6. U4 Ask what day a store is closed 7. U5 Go shopping 8. U5 Order food at a restaurant 9. Exam (1) U6 Ask the prices 10. U7 Tell about a schedule 11. U7 Take a train 12. U8 Speak about today’s activities 13. U8 Speak about the activities in a week 14. U9 Speak about what you did on your day off 15. Exam (2) Review Semester 2 Students will be able to: 1. U10 Invite someone 2. U10 Decline an offer 3. U11 Ask where someone/something is 4. U12 Describe the surroundings of the station and house 5. U13 Introduce your country 6. U13 Say what you think/feel 7. U14 Speak about what you did on your day off 8. U14 Ask the direction at the station 9. Exam (1) U15 Tell about your hobby 10. U15 Express a preference 11. U16 Tell what you want to do 12. U16 Talk about a gift 13. U17 Tell what you can do 14. U18 Talk about a schedule 15. Exam (2) Review					
Textbook & Supplementary materials		TMU mic-J N5 revised edition (TMU original textbook)					
Performance Evaluation		2 exams (40%×2) 80% + Class participation (assignments and attendance) 20%					
Remarks		Level: JLPT/N5 (and equivalent)					

Course Title	Fundamental Japanese I 4a・I 4m (Period 2, Monday) I 4b・I 4n (Period 1, Wednesday) I 4c・I 4ō (Period 2, Wednesday)		Course Code	FJ19・FJ20 FJ21・FJ22 FJ23・FJ24	Credit	1
Lecturer	WATANABE Chikako	Semester 1&2	See above		Minami-Osawa Campus	
Key Word	Comprehensive course					
Teaching Policy Theme	As well as cultivating basic skills in fundamental Japanese language, students increase their knowledge of geography, culture and communicational culture of Japan and find differences between Japan and their own country.					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course	The objective of this course is: ・ To acquire the skills to listen to someone’s saying and roughly understand its meaning in everyday life ・ To be able to understand the geography and culture of Japan and briefly introduce the geography and culture of student’s own country					
Schedule and contents of course	Three courses of the Fundamental Japanese I 4a・4m (Period 2, Monday), 4b・4n (Period 1, Wednesday) and 4c・4ō (Period 2, Wednesday) will be conducted consecutively. Week 1－8 :UNIT 1－12 Week 9 :Midterm exam Week 9－14 :UNIT 13－26 Week 15 :Final exam Detailed class schedule will be distributed at the beginning of the course.					
Textbook & Supplementary materials	“TMU mic-J N4 revised edition” (TMU original textbook) 「げんきⅡ」、「げんきⅡワークブック」 (The Japan Times) Handouts will be distributed as necessary.					
Performance Evaluation	Comprehensive evaluation of class participation and results of final examination Four absences disqualifies the student from being awarded the credit.					
Remarks	① Students are required to take three courses of Period 1 on Monday, Period 1 on Wednesday and Period 2 on Wednesday consecutively (because of continuity in the content of each course). And the “Fundamental Japanese I 4d・4p” in Period 3 on Monday provides reviews and extended study of those courses, it is therefore recommended to take this course in conjunction with the aforesaid courses for further study. ② Level: JLPT/N4 (and equivalent) ③ If you are absent from class, please let the instructor know in advance by any means possible.					

Course Title		Fundamental Japanese I4d・I4p			Course Code	FJ25・FJ26	Credit	1
Lecturer	YAMADA Mayumi		Semester 1&2	Monday	Period 3	Minami-Osawa Campus		
Key Word		Comprehensive course Speaking Grammar Vocabulary & Expressions						
Teaching Policy Theme		・ The second-half of the Fundamental Japanese ・ To enhance comprehension and applicable skills of sentence patterns through practice with the sentence patterns introduced in the textbook “TMUmic-JN4”.						
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		・ To improve speaking skills responding to various situations of daily life ・ To master the sentence patterns learned in the class						
Schedule and contents of course		Pattern practice using the sentence patterns of Unit 1-26 learned in the Fundamental Japanese I4a, b, e (Semester 1) and the Fundamental Japanese I 4m, n, o (Semester 2) Class 1 Unit 1, Unit 2 Class 2 Unit 3, Unit 4 Class 3 Unit 5, Unit 6 Class 4 Unit 7, Unit 8 Class 5 Unit 9, Unit 10 Class 6 Unit 11, Unit 12 Class 7 Unit 13, Unit 14 Class 8 Exam (1) Class 9 Unit 15, Unit 16 Class 10 Unit 17, Unit 18 Class 11 Unit 19, Unit 20 Class 12 Unit 21, Unit 22 Class 13 Unit 23, Unit 24 Class 14 Unit 25, Unit 26 Class 15 Exam (2), Review Please refer to the class schedules of the Fundamental Japanese I4a,d,c and the Fundamental Japanese I4m,n,o.						
Textbook & Supplementary materials		“TMU mic-J N5 revised edition” (TMU original textbook)						
Performance Evaluation		2 exams: (40%×2) 80% Class participation, assignments, attendance: 20%						
Remarks		Level: JLPT/N4 (and equivalent)						

Course Title		Fundamental Japanese I4e・I4q		Course Code	FJ27・FJ28	Credit	1														
Lecturer	HASEGAWA Morihisa		Semester 1&2	Wednesday	Period 3	Minami-Osawa Campus															
Key Word		Speaking																			
Teaching Policy & Theme		Speaking ability for the level from the second-half of the basic Japanese to the first-half of the intermediate Japanese																			
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		The purpose of this course is to improve the speaking ability for the level from the second-half of the basic Japanese to the first-half of the intermediate Japanese, specifically to acquire the skills to make short speeches on simple topics.																			
Schedule and contents of course		To draft a script taken from conversation with an undergraduate/graduate student tutor, and ultimately make a speech. The following topics will be covered in this course: <table><tr><td>1. Self-introduction</td><td>8. My summer/winter vacation plans</td></tr><tr><td>2. My country</td><td>9. My favorite tale</td></tr><tr><td>3. My family</td><td>10. My favorite food</td></tr><tr><td>4. My room</td><td>11. Memories of my trip</td></tr><tr><td>5. My hobby</td><td>12. Gifts</td></tr><tr><td>6. My work and research</td><td>13. What surprised me in Japan</td></tr><tr><td>7. What amazed me recently</td><td>14. My dream</td></tr></table> The topics may be changed according to the proficiency level of students.						1. Self-introduction	8. My summer/winter vacation plans	2. My country	9. My favorite tale	3. My family	10. My favorite food	4. My room	11. Memories of my trip	5. My hobby	12. Gifts	6. My work and research	13. What surprised me in Japan	7. What amazed me recently	14. My dream
1. Self-introduction	8. My summer/winter vacation plans																				
2. My country	9. My favorite tale																				
3. My family	10. My favorite food																				
4. My room	11. Memories of my trip																				
5. My hobby	12. Gifts																				
6. My work and research	13. What surprised me in Japan																				
7. What amazed me recently	14. My dream																				
Textbook & Supplementary materials		None																			
Performance Evaluation		Students are required to attend more than two thirds of the classes. Missing 30 minutes or more of a class period constitutes one absence.																			
Remarks		Level: JLPT/N4 (and equivalent)																			

Course Title		Fundamental Japanese I4f・I4r		Course Code	FJ29・FJ30	Credit	1
Lecturer	INOUE Shōko		Semester 1&2	Tuesday	Period 5	Minami-Osawa Campus	
Key Word		Comprehensive course Listening comprehension Pronunciation					
Teaching Policy Theme		Pronunciation and listening comprehension practice by oral reading					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		・ Speaking skills that enable students to make themselves understood orally (pronunciation) ・ Ability to accurately understand given information and take proper action accordingly (comprehension)					
Schedule and contents of course		1. Class 1 Orientation: Introducing yourself / Introducing others 2. Classes 2 - 14 Reading a story aloud: Reading practice after listening the model reading (reading one story over the course (Classes 1 -14)) Monotones/Words Errands Procedures Information 3. Class 15 Oral reading and comprehension exam					
Textbook & Supplementary materials		Handouts are distributed in each class. When you are absent from a class, make copies yourself. Supplementary: 『初級文型のできる にほんご 発音 ^{はつおん} アクティビティ』 (by Chieko Nakagawa & Others, ASK Publishing) 『5分のできるにほんご音の 聞きわけトレーニング』 (by Teiko Miyamoto & Others, 3A Corporation) 『わくわく文法リスニング 99 』 (by Teiko Miyamoto & Others, Bonjinsha), ets.					
Performance Evaluation		Four absences disqualifies the student from taking the exam and being awarded the credit. Missing 20 minutes or more of a class period 3 times constitutes one absence. Class assignments (quizzes included): 40%, exam: 40%, attendance: 20%					
Remarks		Level: JLPT/N4(and equivalent)					

Course Title		Fundamental Japanese I4g・I4s		Course Code	FJ31・FJ32	Credit	1
Lecturer	YAMADA Mayumi		Semester 1&2	Thursday	Period 4	Arakawa Campus	
Key Word		Comprehensive course Speaking Listening comprehension Grammar Vocabulary & expressions Pronunciation					
Teaching Policy Theme		・ The second-half of the Fundamental Japanese ・ Bulling up communication skills by making grammar, vocabulary and expressions into use. ・ Giving frequently such activities as to get students themselves think and speak based on the conversations that take place in daily life ・ Each unit sets an objective of study “Can-do.” You can check what you can do upon completion of each unit.					
Knowledge & skills students can obtain through the class, objective of the course		・ The course content below shows the objective of each unit. ・ To develop speaking ability required to use in actual situations in everyday life.					
Schedule and contents of course		Practicing by using sentence patterns learned from Unit 1-26 in the Fundamental Japanese I4a,b,c (first-half) and I4m,n,o(second-half)					
		Semester 1 You can: 1. U1 Explain situation 2. U1 Make comparisons 3. U2 Introduce your country 4. U2 Express your preference 5. U3 Talk about your belongings 6. U3 Talk about the clothes on 7. U4 Introduce foods and places 8. U4 Try to do something 9. Exam (1) 10. U5 Talk about changes 11. U5 Tell someone which way to go 12. U6 Speak about what you can do 13. U6 Tell what you are going to do 14. U7 Speak about landscape from the window 15. Exam (2) , Review Semester 2 You can: 1. U7 express apology 2. U8 Talk about someone’s kindness 3. U8 Ask someone how to do 4. U9 Ask politely 5. U9 Ask someone a deadline 6. U10 Give an impression on something 7. U10 Express an intention 8. U10 Tell what to do 9. Exam (1) 10. U11 Talk about an apartment or dormitory 11. U11 Warn someone of over eating/drinking 12. U12 Talk about a visual impression 13. U12 Make a detailed travel schedule 14. U13 Talk about unclear schedule 15. Exam (2), Review					
Textbook & Supplementary materials		“TMU mic-J N5 and N4 Revised Edition” (TMU original textbook)					
Performance Evaluation		2 exams: (40%×2) 80%, class participation, assignments, attendance:20%					
Remarks		Level: JLPT/N4(and equivalent)					

